

第五十九回 帝國議會貴族院 地租法案特別委員會議事速記錄第九號

昭和六年三月二十日(金曜日)午前十時二十二分開會

○委員長(伯爵櫻澤保惠君) 委員會ヲ開キ

マス

○藤田四郎君 私ハモウ一點ダケ御尋ヲ致シテ置キタインデゴザイマス、即チ先日來

ノ續キノ事柄ニアリマス、賃貸價格ノ調査ガニ一千萬圓掛ケマシテ調査スル、或ハ六百

万圓位デ済マウト云フ御話デゴザイマシタガ、實ニ色ミト考ヘテ見マスト、ソレデ行

ケマスカ知レマセヌガ、アレガアノ當時ノ

一千万圓ノ時ニ斯ウ云フ稅ノカ、ルト云フコトヲ知タナラバナカく苦情ガアッテ、

容易ニ調査終了ガセナンダラウト思フ、之ニハ選舉シタ調査委員ナント云フノガ出來

ルノデゴザイマシテ、此後ハ更ニ一層サウ

云フコトニ付テハヤカマシクナルダラウト思フノデゴザイマスルカラ、六百万圓デ出

來ヤウト云フコトハ餘程困難デナイカト私ハ思フノデゴザイマスルガ、御當局ハ之ニ付テドウ云フ御考デゴザイマセウカ矢張リ

手輕ニ、十五年ニ出來タヤウニ手輕ニ出來ルト云フ御考デゴザイマセウカ今一應承テ置キタイ

○國務大臣(井上準之助君) アノ時ニ千万

圓ノ金ヲ二箇年間ニ使ヒマシテ出來マシタ

ノデアリマスルガ、今度賃貸價格ノ調査ガ幾ラデ出來マスカ、勿論分リマセヌノデア

リマスガ、全ク新ナ見方デ見マシタ昭和二年ノ時トハ大分違ヒマスカラシテ、マア二

割位ハ安イ金デ出來ルダラウトスウ云フ位ノ腰ダメノ案デゴザイマス、今後昭和十三

年マデニ經濟界ノ狀態ガドノ位變動イタシ

マスカ、過去ノ事柄ヲ考ヘテ見マスト先ノ

コトハ勿論何人モ分リヤウモゴザイマセヌガ、過去ノ日本ノ經濟界ノ變動シマシタヤ

ガ、過去ノ日本ノ經濟界ノ變動シマシタヤ

トモゴザイマセウ、其點ニ付テハ今後多少

問題ガアリマセウガ、賃貸價格其モノガ昨

日政府委員カラ御答ヘ致シマシタ如ク現實

取テ居ル賃貸價格ト云フコトニ必ズシモ

拘泥シテ調ベタノデヤナインデアリマス、左程十年目ニ於キマジテモサウ變化ハナイ

ノデヤナインカトモ考ヘテ居リマス爲ニ、マア六百万圓アリマシテ一年乃至一年半モ

今度ハ掛リマシタナラバ當然出來ルコトト考ヘテ居リマス

ハドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 最初カラ、賃

價格ヲ調査イタシマシタ頃カラ十年目十

年目ト、斯ウ云フコトハ考ヘテ居タノデア

リマス、ソレガ昭和二年ニ調査ヲ終リマシタノデ昭和三年カラ實行スルコトヲ豫想シ

テ居タノガ、色ミノ事情デ延ビマシテ昭

和六年カラ實行スルコトニナリマシタ爲ニ、昭和三年ト云フ當初豫想シテ居タ實行

期限ヲ押ヘマシテソレカラ十年ト、斯ウ勘定シマシタカラ昭和十三年トナッテ今度ノ

機會ニハ七年後ニ調査スルト云フコトニナリマシタノデアリマス、ソレデ成ルダケ金

ガ掛リ、手數ガ掛リマスカラ左程頻繁ニハ

出來マセヌケレドモ、成ルダケ頻繁ニシテ一度ニ非常ニ地租ノ稅額ノ變ラヌヤウニシ

タイ、斯ウ云フコトヲ理想ニハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○藤田四郎君 ソレハ成ルダケ賃貸價格ノ

公正ヲ保ツ上カラ言ヘバ御尤モノ次第ト思

ヒマスルケレドモ、土地ナドト云フモノハ

大體先祖傳來ノモノト云フ譯デアリマシ

テ、最モ安固ナル財產ト云ハナケレバナラ

ヌモノデアル、之ニ成ルベク公正々々ト云コトニナルノデアリマスルガ、十三年ニハ

フコトデ頻繁ニ之ヲ變ヘテ行クコトニナフテハ、如何ニモ財産ニ對スル安固ト云フモノヲ失フコトニナルノデハゴザイマセヌカト思ヒマスルノデ、御尋ネシタ次第アリマス

○國務大臣(井上準之助君) 何十年間地價ノ修正モ賃貸價格ノ調査モシマセヌ結果、

今度御示シノ如ク宅地ト云フモノガ増税ニナルト云フコトデ非常ニ困ツテ居ル結果デアリマス、十年目毎ニヤリマシタナラバ、

只今申上ゲル如クエライ經濟上ノ變化ガナイ限リハ私ハ左程ノ變動ガナイダラウト

思、テ居リマス、但シ斯ウ云フコトガアリマス、或ハ急ニ新開地ガ出來タ、或ハ非常ナ

特殊ナ事情デ特殊ノ場所ガ非常ニ繁榮シテ來タ、其爲ニ賃貸價格ガ非常ニ上タ、サ

ウ云フ時ニハ矢張リドウシテモ地租ガ賃貸價格ヲ調査イタシマスレバ實入リガ宜イカ

レトハ大變違テ來マスケレドモ、土地ノ如キモノニ地租ガ始終變ルコトハイカヌト云

考カラ見マスレバ其通りゴザイマスガ、一方カラ言ヘバ宜イコトモアラウト思ヒマス

○藤田四郎君 十五年ノ時既ニ都市ノ擴張

ヲセラレテ、名古屋ノ如キト云フヤウナ風ニ擴ガッテ居ル所ト、或ハ又東京大阪ノ如キ同ジ市内ニアツテ、其當時擴張セラレテ居ラヌ、市ニ編入セラレテ居ラヌ所デモ尙ホ當時幾ラモ烟ガアリマシタ、其ノ所ヘ震災ノ爲ニ段々家ガ建チ掛ケテ來ル、デ調査ノ方ハ如何ナリマシタカハ存ジマセヌガ、兎モ角モ甲ノ地ハ使用シテ居ル、乙ノ地ハ使用シテ居ラヌト云フ場所ガアル、サウ云フ所ニ於テハ五錢ニ貸シテ居ルトカ七錢ニ貸シテ居ルトカ言ヘバ、自カラ其隣ノ地所ノ烟デアル所ニシテモ、或ハ場合ニ依ルト云フト調査委員ナリ稅務局ノ扱ニ依ツテハ、或ハ其賃貸價格ト云フモノガ相當代價ニ見積ラ

貨價格ハ此根據ヲ變更セラレナケレバナラヌカト思ツテ居リマスガ、ソレ等ノコトハ爲サレマシタカドウデスカ

○國務大臣(井上準之助君) 其點ハ先日モ

御説明申上ゲマシタ如ク、成程今日ハ農村

デ米ガ非常ニ下リマシタカラ、田地田畠ノ

賃貸價格ヲ或ル特殊ノ田地ヲ取リマシタナ

ラバ、其時掛リマシタ賃貸價格ヨリカ農村

レヨリ以上ニ下ツテ居ルダラウ、同時ニ市街

地ノ宅地モ、私ハ、賃貸價格モ或ル點カラ

ハヨリ何方ガ餘計下タカ存ジニ下ツテ居リマス、何方ガ餘計下タカ存ジ

マセヌガ、今日ノ經濟界ノ狀態デハ市街地

宅地モ賃貸價格ハ下ツテ來タ、田地田畠モ米

ヲコトヲ目的トシテ居ル地租法ノ改正デアリマスカラ、或ル所ハ高クナリ或ル所ハ安クナル、斯ウ云フコトハ、其土地ノ價值ト云ヒマスカ、賃貸價格ト申シマスカニ應ズル、應ジテ違テ行クト云フコトハ已ムヲ得ナイノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスモノデス、サウシテ例ヘバ田地田畠ノコトヲ申シマシテモ、今年米ガ下タカラ、今年ダケノ米ノ値段デ賃貸價格ヲ調査スルト云フコトハ、十年間ノ目的ヲ立テルコトデアリマスカラ、是ニハ少シ無理ガアリマスカラ、

毒ノヤウニ思ヒマス、ソレハ無論サウ信ジマスルガ、是ハ此際ニ於テ兎ニ角モ減稅スルト云フコトニナツテ居ル、片ツ方ノ方ハ増稅スルト云フコトニナツテ居ルト云フノデアリマスカラ、其點ニ於テ賃貸價格其モノニ於テハ成程御説ノ通り御尤モデアリマスノデ、此運用ノ上ニ於テハ、此人民ノ感ズル上ニ於テハ非常ニ違ヒガアルダラウト思ヒマスカラ、ソレヲ非常ニ懸念シテ御尋ねテ居ルニ違ヒナイノデアリマスカラ、或ハ二割減ラストカ三割減ラストカ云フコトノノ不景氣ト云フモノヲ見テ、實際土地モ下ツテ居ルニ違ヒナインデアリマスカラ、或ハ

ゴザイマスカラ、今之ヲ愈、行ハウト云フコトデアレバ、少クモ大體ニ於テ其當時賃貸價格ヲ調査セラレタ所ノモノカラ、此時勢ノ不景氣ト云フモノヲ見テ、實際土地モ下ツテ居ルニ違ヒナインデアリマスカラ、或ハ

致ス次第アリマス

○國務大臣(井上準之助君) 其點ニ付テ

ハ、斯様ナ經濟界ノ場合ニサウ云フ事態ガ出テ來ヌヤウニハシタイノデアリマスガ、

ドウモ負擔ノ不公平ノナイヤウニシヤウト

云フコトヲ目的トシテ居ル地租法ノ改正デアリマスカラ、或ル所ハ高クナリ或ル所ハ

安クナル、斯ウ云フコトハ、其土地ノ價值ト云ヒマスカ、賃貸價格ト申シマスカニ應

ズル、應ジテ違テ行クト云フコトハ已ムヲ得ナイノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスモノ

デス、サウシテ例ヘバ田地田畠ノコトヲ申シマシテモ、今年米ガ下タカラ、今年ダケ

ノ米ノ値段デ賃貸價格ヲ調査スルト云フコトハ、十年間ノ目的ヲ立テルコトデアリマスカラ、是ニハ少シ無理ガアリマスカラ、

マイカ、田畠ノ如キモノハ是ハ成程御氣ノノデス、斯ウ云フヤウナコトモアリマスノ云

マノ如キハ何ケ年間ノ過去ノ平均ヲ以テ

○藤田四郎君 少シ間違ツテ居リハシマス

ヤツテ居リマシテ、大體十年間ハ帳記帳シタ以上ハ動カサヌ、斯ウ云フコトニシテ置キマスモノデスカラ、一箇年間ノ特殊ノト云フコトハ當然ノ結果ト考ヘテ居リマスト云フコトハ當然ノ結果ト考ヘテ居リマス〇藤田四郎君 私ハ是デ此問題ニ付テハ質問ヲ終リマス

○水野鍊太郎君 只今ノ點ニ付テ尙ホ大藏大臣ニチヨット御伺ヒ致シタイノデアリマス、此賃貸價格ヲ以テ地租ノ課稅標準ニスルト云フコトニ相成タノデアリマスガ、此賃貸價格ハ十年毎ニ之ヲ改訂スルト云フコトガ此度ノ法律デアリマス、其理由ハ十年モ經過スルト賃貸價格ガ大分變テ來ルノダラウ、ソレデアリマスルカラシテ、十年毎ニ賃貸價格ヲ調査シ、之ヲ改訂スルト云フコトガ公正ヲ期スル上ニ於テ必要デアル、斯ウ云フ趣旨カラ出タト思フ、然ルニ十年毎ニ常ニ賃貸價格ガ變ル、從テ地租ノ額ガ變シテ來ルト云フコトニナル爲ニ、所有者カラ見レバ非常ナル不安ガアルト云フコトデアリマスガ、ソレモ其通りデアラウト思ヒマス、然ルニ今大藏大臣ノ説明ニ依ルト、モウ是カラハエライ變動モナイデアラウト云フコトヲ只今御シヤッタ、其御見込ガ正當デアルヤ否ヤハ疑ヒノ存スル所デアリ

マスガ、今後賃貸價格ガ餘リ變動ノナイト
云フ見込デアルナラバ、必ズシモ十年毎ニ
改訂シナイデモ宜クハナイカ、十年毎ニ改
訂スルト云フコトニナリマスト云フト、昨
ノミナラズ、其結果ト致シマシテ、改訂ノ
結果ト致シマシテ、地租ニ變動ヲ來スノデ
アリマスルカラ、土地所有者ニ對シマシテ
ハ、不安ノ念ヲ抱カセルト云フコトモ尤モ
ダト思フ、若シ大藏大臣ノ只今ノ御見込ガ
正確デアルト云フコトデアルナラバ、必ズ
シモ十年位デセヌデモ宜イデハナイカト云
フ結論ガ生ジテ來ルノデアリマス、實ハ一
度極メタモノハ餘リニ變動ガナケレバ度ミ
改訂ヲシナイ方ガ宜イダラウト思フノデア
リマス、其點ハ如何デスカ

モ、左程間違ヒナカラウカト考ヘテ居ルノ
デアリマス、ソレナラバ十年毎ニソンナニ
變化ガナイナラ調査セヌデモ宜イデヤナイ
カト、斯ウ言ハレマスケレドモ、是マデノ
地價修正ガ非常ニ困難デアッタ、然ルニ地價
ニ變動ガアッテ不公正デアルコトハ明カニ
分、テ居リナガラ、地價修正ガ出來ナカッタ
ト云フコトハ長ク打棄テテ置イタカラト云
フコトモ澤山アルダラウト思フ、只今藤田
氏ノ舉ゲラレル如ク宅地ノ地租ガ殖エテ行
ク、斯ウ云フコトモ長ラク修正ヲシマセヌ
カラ、一度ニ殖エナケレバナラスト云フ結
果ヲ生ズルノデアリマシテ、之ヲ頻々ニヤッ
テ置キサヘスレバ、左様ナ急激ナ變動ガナ
シニ濟ム、斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデス
カラ、十年ト云フコトハ先日申上ガル如ク
腰ダメデアリマス、併シ先ヅ餘リ頻々トセ
ズニ相當ノ期間デヤルト云フナラバ經濟界
ノ變動ヲ見越シテ何年置キニヤラウカト云
フナラ、先ヅ十年ト云フヤウナコトハ何人
デモ思付クコトデヤナイカト、斯ウ考ヘテ
十年トスウ決メタノデアリマス、ソレカラ
初中終賃貸價格ヲ調査シテ地租ガ變ルコト
今言フ如ク十年目ニ調査シテ見マシマスガ、
今度ノヤウナ大キナ變動ハ勿論ナカラウ、

併ナガラ或特殊ナ土地、特殊チ場所ニ於キ
マシテ非常ナ變化ノ來スコトハ是ハ當然デ
アリマシテ、サウ云フモノガ賃貸價格ガ非
常ニ上ガリナガラ十年二十年モ放タラカシ
テ置クト云フコトモ亦不公正ヲ來スノデア
リマスカラ、サウ云フコトヲ豫想イタシマ
スト、先ヅ十年目位ニ調査ヲシテ見ル、最
初ノ十年ニハ金モ千万圓掛リマシタガ、二
度目ニハソレヨリモ少カラウ、三度目ハソ
レヨリ少カラウ、四度目ニハ尙ホ少カラウ
ト云フコトモ想像出來マスノデ、十年毎ニ
ズットヤツテ行ク習慣ヲ附ケマシタナラバ、
左様重大事件トモ考ヘナイデ行ケルダラウ
ト思ツテ居リマス

テ、國費地方費ノ増加ノ上カラ申シマシテ
モ、隨分重イコトデアル、ト同時ニ課稅標
準ガ變リマス結果、國民ガ地租若クハ地租
附加稅トシテ納ムベキ額ニモ變動ヲ來スノ
デアリマス、其變動ハ、或ハ安クナル所モ
アリマセウ、或ハ高クナル所モアリマセウ
ガ、殊ニ高クナル方面カラ申シマスレバ、
非常ニ不安デアリ、十年毎ニ增稅增稅サレ
ルト云フ懸念ヲ懷クノデアリマス、此度ノ
如キモ確ニ宅地ニ付テハ增稅ニ相成ツテ居
リマスガ、而シテ將來ノ事ヲ考ヘマスルト
云フト、宅地ノ貨賃價格ハ大勢カラ見レバ、
私ハ増スノデハナイカト思フノデアリマセ
ス、經濟上ノ事情ニ依ツテ減ル所モアリマセ
ウケレドモ、多クハ多少ナリトモ増スト云
フ傾向ガアリハシナイカト云フ風ニ感ズル
ノデアリマス、是ハ感ジデアリマスカラ、
其時ニ依ツテ違フカモ知レマセヌガ、サウ云
フコトハアリ得ルト思フ、ソレカラ殊ニ都
會地ニ付キマシテハ近時ノ趨勢ト致シマシ
テ都市ガ擴大セラレルト云フ傾向ガアルノ
デアリマス、大阪市ノ如キ、此度ノ京都市
ノ如キ、名古屋市ノ如キ、非常ニ都市ノ區
域ガ擴大セラレルノデアリマス、其事ガ善
イカ惡イカハ別問題デアリマスケレドモ、

畑ガ變ジテ宅地トナルト云フ趨勢ニ相成テ來ルノデアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ十年毎ニ賃貸價格ヲ變ヘルト云フコトニナリマスレバ、土地所有者トシテハ、ヤウナ感ジヲ持チハシナイカト思ヒマス、ソレモ事實賦課ノ公正ヲ期スル爲デアルト云フコトナラバ、是ハ已ムヲ得ヌコトト思フノデアリマス、ソレ故ニ明治四十三年以來、宅地ノ修正地價ニ對シテ二十年間ノ間ニ、何カソレニ付テノ國民ノ聲ガアッタカト云フコトヲ伺フタノハ、ソレナノデアリマス、只今ノ御答辯ニ依リマスト、其間ニ何等ノサウ云フ聲ハ聞カナカッタト云フコトデアリマスガ、若シサウ云フ事實デアルナラバ、私ハ寧ロ賃貸價格ノ調査ノ期間ト云フモノモ今少シク長クスル方ガ、國民ニ安ガ故ニ、ソレヲ御伺ヒシタノデアリマス、ソレハ別ト致シマシテ、私ハ尙ホ大藏大臣ニ、モウ一應伺テ置キタイト思フノデアリマス、地租ノ課稅標準ヲ賃貸價格ニスルコトガ適當デアリヤ否ヤト云フコトハ、是ハ随分論議セラレタコトデアルノデアリマス、併シ論議セラレタ其結果トシテ、大正十五年ニ賃貸價格トスルト云フコトヲ前提

トシテ賃貸價格ノ調査ヲサレタノデアリマス、併シ賃貸價格ノ調査ト云フコトモ昨年以來、種々議論ガ出テ居リマス通リニ、隨分困難ノ問題デアル、而シテ又實際ニ必シモ相應シクナイ所ノ賃貸價格ノ決メ方モアツラウト思フノデアリマス、ケレドモ是ガ或點マデハ見込ニ依ッテ決メシマハナケレバナラヌノデアリマスカラ、今日決マッタ所ノ賃貸價格ヲ惠イト申スノデハナイノデアリマス、賃貸價格ニ致シマシテモ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ尙ホ論議スペキ餘地ガアルト思フカラ、ソレ故ニ私ハ稅法ヲ改正スルニ付テハ尙ホ今一段ノ調査研究ヲ要スルコトガアリハシナイカト思フノデアリマス、ソレ故ニ昭和六年度ノ豫算ガ通過イタシマシタ後ニ於テ、政府ニ於テハ稅制ノ調査ヲスルト云フ御見込ガアルト云フコトデアリマス、ソレデアリマスル以上ハ、私ハ此地租ノ課稅標準、竝ニ之伴フ所ノ地方稅ノ變化ト云フコトニ付キマシテモ、尙ホ一段ト私ハ調査研究ヲスルコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ昭和六年度ニ於テ行政、財政、稅制ノ調査ヲノ御研究ヲ必要トセラレルノデハナイカト爲サレルニ當フテ是等ノ點ニ付テハ今一段云フコトヲ問ウタノデアリマスルガ、大藏

大臣ハ其點ニ付テハ明瞭ナ御答ヲ爲サレテ居ラレナイ、種々ノ調査ヲスル、殊ニ地方稅ニ付テ調査ヲスル、或ハ其結果、此度ノ地租法ニ付テモ調査スル場合ニナルカモ知レヌ、或ハナラヌカモ知レヌ、此地租法竝ニ營業收益稅ニ付テハ大體ニ於テ是デ宜イト思フノデアルカラ、ソレ以上ノ調査ハセナイト云フヤウナ御意見モアツタノデアリマスガ、私ハ願クバ、サウ云フ點ニ付テモ今一段ノ御調査ヲ願ヒタイ、是ハ最モ私ハ國民ノ負擔ノ上ニ重大ナル影響ガアルモノト考ヘマスルカラ、其事ハ特ニ私ハ深切ニ御互ニ考ヘテ行カネバナラヌト考ヘマスノデ、モウ此事ハ是デ決マッタノデアル、是ガ一番宜イノデアル、ソレ以上ニ研究スル必要モナイ、サウ云フコトヲ仰シヤラレルノハ甚ダ不快ニ感ズルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ一ツ十分ニ調査シテ見ヤウ、又調査スルコトガ適當デアルト云フコトガ政府者トシテスペキコトデハナイカト思フノデアリマスルカラ、ソコヲモウ一度、私ハ念ノ爲ニ御確メ致シテ置ク次第デアリマス、前ノ問題ハ御質問デモアリマセヌノデアリマスガ、御話ニ依リマシテ私ノ感想ヲス

○國務大臣(井上準之助君) 御答へ致シマ

○國務大臣(井上達之助君) 御答へ致シマス、前ノ問題ハ御質問デモアリマセヌノデアリマスガ、御話ニ依リマシテ私ノ感想ヲ

申上ゲテ置キマスガ、四十三年ニ宅地價ヲ
修正シテ、サウシテ稅率ヲ決メテ今日マデ
ヤツテ居ル、成程、此事柄其モノダケニ付テ
ハ別ニ陳情トカ、或ハ世論ニ噴シイコトモ
無カッタヤウデアリマスガ、併ナガラ市街地
ノ中デ考ヘテ見マスト、或ル場所ハ以前ノ
繁昌ガナクナッテ、或ル場所ハ非常ナ繁昌ヲ
來シ、從テ地代等モ非常ニ一般ニ高クナッテ
居ル、サウ云フコトハ何人モ東京ダケノ例
ヲ取リマシテモ認メル所デアリマス、ソコ
デ全體ガ賃貸價格ガ上ツタ場合ニハ誰モソ
レニ付テ別ニ不平モアリマセヌケレドモ、
時勢ノ變遷ニ依ツテ、一方ハ動カナイ、或ハ
多少土地ノ繁昌ヲ失ツテ地代ガ下ツタ、然ル
ニ一方ニハ何十倍モ地代ガ上ツテ非常ナル
繁昌ヲシテ居ル、斯ウ云フ場合ニ從來ノ通
リニ、地租ノ負擔ヲシテ居ルト云フコトハ、
繁昌ヲ來シタ所ノ場所カラ言ヒマシタナラ
バ、是ハ何トカ改正スペキモノトスウ云フ
感ジモアリマセウ、ソコガ爲政者トシテハ、
サウ云フ事柄ガ同ジ市街中ニモ澤山出テ來
テ居ルナラバ、何カ公正ナ標準ヲ以テ改正
当然ノ儀トモ考ヘテ居ツタノデアリマシテ、
ヲスルト云フコトヲ希望スルコトハ、是ハ
左様ナ問題ハドノ市街ヲ見マシテモ澤山ア
ル所デアリマス、ソレカラ第一ノ御質問ノ

其時ノ御答ハ概括的ノ御答ヲ致シマシタガ、只今水野氏ノ言ハレタヤウニ根本ニ遡フテ二箇年掛テ千万圓掛ケテ此只今御協賛ヲ仰イデ居ル賃貸價格ヲ根本ニヤリ直ス調査ヲスル、即チ茲ニ又再ビ賃貸價格ヲ調査シ直スカ、或ハ賃貸價格デハ不都合ダカラカト云フ御質問デアリマスナラバ、ソレハ今日私ハ用意モ致シテ居リマセヌ、茲ニ御協賛ヲ仰イデ居ル此賃貸價格ノ調査ニ依テ地租ノ課稅標準ヲ定メルト云フコト其モノニ付テハ今日變ヘル考ハゴザイマセヌガ、併ナガラ假ニ三・八ト云フヤウナ稅率ト云フヤウナモノニナリマシタナラバ、今後ドウナリマスカ、營業收益稅ト對立シテ考ヘテ、例ヘバ營業收益稅ヲモウ少シ下げタ方ガ宜シトスウ云フナラバ、其結果ガ地租ノ稅率ヲ幾ラカ下ゲナケレバナラヌヤウナ結果モ生ジテ來ルカモ知レス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ勿論全體ノ調査ヲシテ、總テノ稅目ニ付テ徹底的ノ調査ヲシテ稅目其モノノ比較平均研究ヲシナケリヤナラヌノデアリマスガ、若シ茲ニ御協賛ヲ仰イデ居ル地租法ノ改正ノ根本ノ賃貸價格ヲ、之ヲ調査シ直シテ見ナイカト言ハレル

問題デゴザイマスナラバ、是ヘ是デ一應御
協賛ヲ仰イデ置キマシテ、サウシテ此地粗
テ此儘ニ決行シタイト云フコトハ其通リデ
アリマセウ、併ナガラ地租ノ課稅標準ヲ賃
貸價格トスベキヤ若クハ他ノ方法ヲ執ルベ
キヤト云フコトニ付テハ、今後ノ稅制調査
ノ上ニ於テ御研究ナサラナイト、斯ウ云フ
御考ト承テ宜シノデアリマスカ

○水野鍊太郎君　此地租法ヲ茲デ協賛ヲシ
テ此儘ニ決行シタイト云フコトハ其通リデ
アリマセウ、併ナガラ地租ノ課稅標準ヲ賃
貸價格トスベキヤ若クハ他ノ方法ヲ執ルベ
キヤト云フコトニ付テハ、今後ノ稅制調査
ノ上ニ於テ御研究ナサラナイト、斯ウ云フ
御考ト承テ宜シノデアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君)　調査シナイト
申上ゲル譯デハアリマセヌガ、大正十五年
カラ昭和二年ニ掛ケマシテ土地ノ賃貸價格
ニ依ツテ課稅標準ヲ決メルガ宜イカドウカ
ト云フコトハ可ナリ議論シテ、兩院ニ於テ
モ、ナカニ徹底的ノ議論ガアリマシテ、ソ
レデ決シテ、サウシテ今日ノ地租法ヲソレ
ニ依ツテ改正シテ茲ニ提案イタシマシタ、私
トンテハ、提案ラシナガラ是モドウモ不完
全ナ點ガアリマスカラ、是モ一つ根本カラ
變ヘテ調査シテ見マセウト云フ考デハ私ハ
居リマセヌ、此案ハ今度ノ所デハ賃貸價格
ノ調査モ徹底的ニヤツテ居ルカラ、ソレハ所
申サレマスマイガ、多クノ土地ニ付テノ調査

査デアリマスカラ或所ハ相當ノ程度ニ行カ
ナケレバナリマスエヌケレドモ、從來ノ地價
ノ儘デ置クヨリモ非常ニ一段ノ改正ダト、
レダケノ信念ハ自分ニ持テ居ルノデアリ
マスカラ、從テ之ヲ根本ニ只今變ヘルヤウ
ナ調査ヲシテ見マセウト云フ考ハ持テ居
リマセヌ

ノデ、一律ニ「舊法ノ地租額ノ三倍八割」云
云ト云フ風ニ相成テ居ルヤウニ思フノデ
アリマスガ、ソレハ私ノ此改正案ノ讀ミ方
ガ惡イノカ知レマセヌガ、サウ云フ風ニナッ
テ居ルヤウニ思ヒマス、明治四十三年ノ地
價修正ノ時ニハ、市街宅地ト郡村宅地トノ
間ニ區別ヲシタ、此度ハ總テヲ農村地タル
ト都會地タルトヲ問ハズ、同ジヤウニ三倍
八割ト云フヤウニ一律ニ決メラレタト云フ
コトハ如何デアリマセウカ、此點ガ地租ノ
賦課ノ上ニ公正ヲ期シ得ラレヌ結果ヲ生ズ
ルノデハナイカト云フコトヲ恐レマスカ
ラ、之ヲ御問ヒ致スノデアリマス、若シ私
ノ條文ノ讀ミ方ガ間違テ居レバ是ハ御正
シヲ願ヒタイ、其點如何デスカ

○政府委員(青木得三君) 細目ニ涉リマス
ノデ私カラ申上ゲマス、只今御質問ニゴザ
イマスヤウニ明治四十三年ノ宅地價修正ノ
際ニハ市街宅地ニアリマシテハ現在地價ノ
二割ト御決メニナリマシタコトハ御質問ノ
シテ修正地價トノ割合ナンデゴザイマス、
シテ修正地價トノ割合ナンデゴザイマス、
十八倍ト云フノハ……現在地價、其改正前
ノ地價ト改正後ノ地價トノ割合デゴザイマ
ス、今回御審議ヲ願テ居リマス地租法ニ

書イテゴザイマス三倍八割ト申シマスノハ、取テ申上ゲマスルト、明治四十三年改正前
改正前ノ地租ト改正後ノ地租トノ割合デゴ
ノデアリマス、然ラバ明治四十三年ニ改正前
ノ地價ト改正後ノ地價ヲ市街宅地ニ於テハ
十八倍、郡村宅地ニ於テハ七倍二割ニ制限
イタシマシタカラ、今回御審議ヲ願テ居リ
マスヤウニ、改正前ノ地價ト改正後ノ地價
トノ割合ニ換算ヲ致シテ見マスルト……此
十八倍ト云フモノト、七倍二割ト云フモノ
ヲ改正前ノ地租ト改正後ノ地租トノ割合ニ
換算ヲ致シテ見マスルト、郡村宅地モ市街
宅地モ雙方トモ二倍二割五分トスウ云フコ
トニナリマス、其道行キヲ簡単ニ申上ゲマ
ス、左様ニ相成リマスノハ其當時ニ於キマ
スル市街宅地ノ稅率ト、郡村宅地ノ稅率ト
ガ違テ居リマシタカラ起リマスルノデゴ
ザイマスケレドモ、今日ハ市街宅地モ郡村
宅地モ同ジ百分ノ二・二五デゴザイマスガ、
其當時ハ市街宅地ハ百分ノ二十ト云フ稅率
デ八圓納メテ居リマス、然ルニ其七倍二割
ニ制限イタシマスカラ、修正サレマシタ地
價ガ七百二十圓ニナリマス、之ニ對シテ百
分ノ二・五ト云フ新シキ稅率ヲ掛ケマスト
十八圓ノ稅ヲ納メルコトニナリマス、即チ
前ニ八圓納メテ居リマシタ人ガ十八圓納メ
マスカラ其歩合ハ矢張リ一倍二割五分トナ
加ヘ、市街宅地ニハ增稅ヲ爲シタコトガ屢
アルノデアリマス、ソレハ明治初年ニ地租
ヲ御決メニナッタ時ニハ、是ハ頂戴シマシタ
ノニ依リマスノデアリマスガ……皆様五十
ト都會地タルトヲ問ハズ、同ジヤウニ三倍
八割ト云フヤウニ一律ニ決メラレタト云フ
コトハ如何デアリマセウカ、此點ガ地租ノ
賦課ノ上ニ公正ヲ期シ得ラレヌ結果ヲ生ズ
ルノデハナイカト云フコトヲ恐レマスカ
ラ、之ヲ御問ヒ致スノデアリマス、若シ私
ノ條文ノ讀ミ方ガ間違テ居レバ是ハ御正
シヲ願ヒタイ、其點如何デスカ

○大橋新太郎君 此度ノ地租改正ハ負擔ノ
ノデアリマス、然ラバ明治四十三年ニ改正前
ノ地價ト改正後ノ地價ヲ市街宅地ニ於テハ
十圓ノ稅ヲ拂テ居リマシタ譯デゴザイマ
ス、然ルニ其當時ノ制限ハ十八倍ヲ以テ制
限ニ致シマシタノデゴザイマスカラ、地價
ガ百圓ノ所ハ十八倍ニ止メマスレバ千八百
圓トスウ云フコトニナッテ居リマス、其千八
百圓ニ對シテ新シキ稅率ヲ一・五ニ致シマシ
タカラ、其千八百圓ニ對シテ稅率ノ二・五
ト云フモノハ四十五圓デゴザイマス、前ノ
スカラ、二倍二割五分ト云フコトニナリマ
ス、郡村宅地ニ於テ申上ゲマスト改正前ニ
稅ハ二十圓、改正後ハ四十五圓デゴザイマ
スカラ、二倍二割五分ト云フコトニナリマ
ス、左様ニ相成リマスノハ其當時ニ於キマ
スル市街宅地ノ稅率ト、郡村宅地ノ稅率ト
ガ違テ居リマシタカラ起リマスルノデゴ
ザイマスケレドモ、今日ハ市街宅地モ郡村
宅地モ同ジ百分ノ二・二五デゴザイマスガ、
其當時ハ市街宅地ハ百分ノ二十ト云フ稅率
デ八圓納メテ居リマス、然ルニ其七倍二割
ニ制限イタシマスカラ、修正サレマシタ地
價ガ七百二十圓ニナリマス、之ニ對シテ百
分ノ二・五ト云フ新シキ稅率ヲ掛ケマスト
十八圓ノ稅ヲ納メルコトニナリマス、即チ
前ニ八圓納メテ居リマシタ人ガ十八圓納メ
マスカラ其歩合ハ矢張リ一倍二割五分トナ
加ヘ、市街宅地ニハ增稅ヲ爲シタコトガ屢
アルノデアリマス、ソレハ明治初年ニ地租
ヲ御決メニナッタ時ニハ、是ハ頂戴シマシタ
ノニ依リマスノデアリマスガ……皆様五十
ト都會地タルトヲ問ハズ、同ジヤウニ三倍
八割ト云フヤウニ一律ニ決メラレタト云フ
コトハ如何デアリマセウカ、此點ガ地租ノ
賦課ノ上ニ公正ヲ期シ得ラレヌ結果ヲ生ズ
ルノデハナイカト云フコトヲ恐レマスカ
ラ、之ヲ御問ヒ致スノデアリマス、若シ私
ノ條文ノ讀ミ方ガ間違テ居レバ是ハ御正
シヲ願ヒタイ、其點如何デスカ

○大橋新太郎君 此度ノ地租改正ハ負擔ノ
ノデアリマス、然ラバ明治四十三年ニ改正前
ノ地價ト改正後ノ地價ヲ市街宅地ニ於テハ
十圓ノ稅ヲ拂テ居リマシタ譯デゴザイマ
ス、然ルニ其當時ノ制限ハ十八倍ヲ以テ制
限ニ致シマシタカラ、今回御審議ヲ願テ居リ
マスヤウニ、改正前ノ地價ト改正後ノ地價
トノ割合ニ換算ヲ致シテ見マスルト……此
十八倍ト云フモノト、七倍二割ト云フモノ
ヲ改正前ノ地租ト改正後ノ地租トノ割合ニ
換算ヲ致シテ見マスルト、郡村宅地モ市街
宅地モ雙方トモ二倍二割五分トスウ云フコ
トニナリマス、其道行キヲ簡単ニ申上ゲマ
ス、左様ニ相成リマスノハ其當時ニ於キマ
スル市街宅地ノ稅率ト、郡村宅地ノ稅率ト
ガ違テ居リマシタカラ起リマスルノデゴ
ザイマスケレドモ、今日ハ市街宅地モ郡村
宅地モ同ジ百分ノ二・二五デゴザイマスガ、
其當時ハ市街宅地ハ百分ノ二十ト云フ稅率
デ八圓納メテ居リマス、然ルニ其七倍二割
ニ制限イタシマスカラ、修正サレマシタ地
價ガ七百二十圓ニナリマス、之ニ對シテ百
分ノ二・五ト云フ新シキ稅率ヲ掛ケマスト
十八圓ノ稅ヲ納メルコトニナリマス、即チ
前ニ八圓納メテ居リマシタ人ガ十八圓納メ
マスカラ其歩合ハ矢張リ一倍二割五分トナ
加ヘ、市街宅地ニハ增稅ヲ爲シタコトガ屢
アルノデアリマス、ソレハ明治初年ニ地租
ヲ御決メニナッタ時ニハ、是ハ頂戴シマシタ
ノニ依リマスノデアリマスガ……皆様五十
ト都會地タルトヲ問ハズ、同ジヤウニ三倍
八割ト云フヤウニ一律ニ決メラレタト云フ
コトハ如何デアリマセウカ、此點ガ地租ノ
賦課ノ上ニ公正ヲ期シ得ラレヌ結果ヲ生ズ
ルノデハナイカト云フコトヲ恐レマスカ
ラ、之ヲ御問ヒ致スノデアリマス、若シ私
ノ條文ノ讀ミ方ガ間違テ居レバ是ハ御正
シヲ願ヒタイ、其點如何デスカ

キヲ顧ヒタイ、田畠宅地トモ明治九年マデハ百分ノ三、是ハ同ジ額デアル、ソレカラ明治十年カラ三十一年マデ二十一年間、此間ニハ議會モ開會セラレ、又日清戰役モアリマシタガ、其田畠宅地トモ百分ノ二箇半ト云フ、前ノ百分ノ三ガ二・五ニ下、テ居ルノデ、二十一年間總テ地租ニハ變動ガナカタノデアリマス、變動ノ始マリマシタノハ明治三十二年デアリマス、第一回ノ變動是ハ丁度日清戰爭後、國運ノ進展ニ伴ヒ國分ノ二・五ト云フノヲ百分ノ三・二ニ上ゲタ、其時ニハ市街宅地ハ百分ノ五トナツテ、詰リ田畠ノ方ハ三割上ゲテ、市街宅地ハ十割御上ゲニナッタ、第一回ノ變更、一方ハ三割、一方ハ十割、其次ニ明治三十七年日露戰爭ノ勃發シタ當時ニハ又國費モ増ス爲ニ田畠ヲ百分ノ三・三ヲ百分ノ四・三又三割、田畠ニハ地租ヲ御上ゲニナッタ、市街宅地ハ如何ト言ヘバ百分ノ五ガ百分ノ八ニナツタカラ六割上ゲタ、第一回ニ十割、第二回ニハ六割上ゲタ、第三回ニハ六割上ゲタ、第三回詰リ日露戰役ノ最中デ、モウ國ノ運命ヲ賭スルト云フノデ非常ナ増稅ヲ斷行シタ時デアリマス、其時ニハ田畠ノ百分ノ四・三ヲ百分ノ五・五ト改メマシタ、又三割、田畠ノ

方ガ上ゲタ、市街宅地ハ百分ノ八ガ百分ノ二十、更ニ十五倍上ゲタ、三回目ニハ……最初ハ十割上ゲ、次ニハ六割、第三回目ニハ十割上ゲタ、第四回目ノ明治四十三年ニハ五割上ゲタ、田畠ニハ御下ゲニナツタ、而シテ市街宅地ハドウデアルカト申シマスレバ一億四千万圓程ノ市街宅地ノ地價ヲ一躍シテ、七億ニ地價ヲ上ゲタノデアリマス、一億四千萬圓ノヲ市街宅地ハ七億万圓ニ御改メニナツテ、サウシテ此上ゲタ結果、農村ノ方ニハ詰リ田畠ニハ一割五分下ゲナガラ、百分ノ二十云フヤウナ高率ノ稅率ヲ其儘實收ノ減ラナイヤウニ百分ノ二半ニ御改メニナツタ云フ御話デアル、是ハ大藏當局ノ御説明デアル、此宅地ガ修正ノ結果ニ依ルト云フノハ、詰リ百分ノ二十云フ數ガ百分ノ二箇半ニ下ゲタヤウデアリマス、地價其モノヲ一億四千万圓ノヲ七億万圓ニモシテ、其結果田畠ハ稅ヲ下ゲタ、宅地租ハ下ゲタ、斯ウ云フノガ第四回マデノ經過デアリマス、然ルニ大正四年ニ更ニ又田畠ノ百分ノ四・七八又百分ノ四・五ニナツテ、又田畠ハ大正四年ニハ田畠ノ地租ハ御下ゲニナツテ、宅地ハ百分ノ二半其儘ニ据置キニナル、田畠ノ

方ニミヲ御下ゲニナツタコトハ此通り屢々アリマス、ソレデ此度ノ御增稅モ、第六回ガ今ノアレデ、今度ハ七回目デス、第七回リノ變動ニハ、田畠ノ稅率ハ御承知ノ通割五分、田畠ニハ御下ゲニナツタ、而シテ市街宅地ハドウデアルカト申シマスレバ一億四千万圓程ノ市街宅地ノ地價ヲ一躍シテ、七億ニ地價ヲ上ゲタノデアリマスカラ、前ノ街宅地ハドウデアルカト申シマスレバ一億四千万圓程ノ市街宅地ノ地價ヲ一躍シテ、七百万圓カラノ免租地ヲ作リ、サウシテ此度ノハ、年ノ時ニハ、自作農ニ免稅ヲシテ、七百万圓カラノ免租地ヲ作リ、サウシテ此度ノハ、市街宅地ニハ、六大都市ノ七割八分四厘ノ増稅ヲスル、ソレカラ後ノ百三十ト云フ市制ノ布イテアリマス所ハ、平均四割二分一厘ヲ上ゲル、ソレカラ此間戴キマシタ第六號ト云フ表ニ郡部ノ宅地價ハ五分七厘ダケ御下ゲニナルヤウニ書イテアリマスケレドモ、私ハ之ニ付テ疑問ヲ持チマシテ、大藏當局ニ此郡部トアツテモ、町ト村ガアル、町ト村ヲ持チ子歸テ算盤ヲ入レテ見マスト、今申上テ居ルノデアリマスガ、昨日戴キマシタ表ノゲタヤウニ、屢々增稅ヲ市民ハ受ケテ居ル、負擔ヲシテ居ルヤウナ御説明ノミニ承ハッテ居ル、ソレカラ市街宅地ノ者ハ輕イテ居ルノデアリマスガ、昨日戴キマシタ表ヲ持チ子歸テ算盤ヲ入レテ見マスト、今申上テ居ルノデアリマスガ、昨日戴キマシタ表ノゲタヤウニ、屢々增稅ヲ市民ハ受ケテ居ル、第一回ニハ十割上ゲテ居ル、第二回ニハ六割上ゲテ居ル、第三回ニハ十五割上ゲテ居ル、其次ニハ地價ヲ上ゲラレテ居ル、ケレドモ農村ノ方ハ地價ヲ下ゲテ、ドウモ市民ノ方ダケハ下ゲタ、更ニ今度ハ、斯カル經濟界ノ不況ノ場合ニモ斯ウ云フ增稅ヲナサレタ、元來此日本ノ經濟ノ……數字ノミ申上げテ相濟ミマセヌガ明治四年ノ第一議會ノ國稅ノ總額ハ六千四百万圓、地租ガ三千四百四十萬圓ト云フ半分以上ノ金額ヲ第一回時ニハ占メテ居ルノデアリマス、國ノ

戴入カラ申シマスレバ非常ナ是ハ大キナ金デ居ル者ノ人口……市ガ百九アリマス、ソレカラ千六百三十五ノ町ニ住シテ居ルモノニハ、此度ノ減稅デナク、增稅ヲオサセニナル、サウシテ村ニ住シテ居ルモノ、一万幾ラノ村ハ、宅地租モ下ガレバ、村ノ宅地價マデ御下ゲニナル、斯ウ云フメガ、此度ノ此地ハ此間カラ說明ヲ聽イテ居リマスト、屢々アリマス、ソレカラ市街宅地ノ者ハ輕イテ居ルノデアリマスガ、昨日戴キマシタ表ノゲタヤウニ、屢々增稅ヲ市民ハ受ケテ居ル、負擔ヲシテ居ルヤウナ御説明ノミニ承ハッテ居ル、ソレカラ市街宅地ノ者ハ輕イテ居ルノデアリマスガ、昨日戴キマシタ表ノゲタヤウニ、屢々增稅ヲ市民ハ受ケテ居ル、第一回ニハ十割上ゲテ居ル、第二回ニハ六割上ゲテ居ル、第三回ニハ十五割上ゲテ居ル、其次ニハ地價ヲ上ゲラレテ居ル、ケレドモ農村ノ方ハ地價ヲ下ゲテ、ドウモ市民ノ方ダケハ下ゲタ、更ニ今度ハ、斯カル經濟界ノ不況ノ場合ニモ斯ウ云フ增稅ヲナサレタ、元來此日本ノ經濟ノ……數字ノミ申上げテ相濟ミマセヌガ明治四年ノ第一議會ノ國稅ノ總額ハ六千四百万圓、地租ガ三千四百四十萬圓ト云フ半分以上ノ金額ヲ第一回時ニハ占メテ居ルノデアリマス、國ノ

高デアリマス、併ナガラ前申シマシタ三十
七年ノ日露戰役ノ時ニハ國稅ガ一億九千四
百万圓ノ中地租ハ六千九十万圓デ所得稅ガ
千四百五十万圓、營業稅ガ千二百九十万圓
ト云フ譯ニナリマシテ、此地租ガ所得稅ヨ
リモ營業稅ヨリモ三分ノ一程ノ稅ノ總額ヲ
持テ居タノデアリマス、大正三年ノ歐羅
巴大戰ノ先頃カラ問題ニナリマシタ時ニ
ハ、國稅總額ガ三億四千三百万圓ノ中地租
ガ七千四百九十万圓デ所得稅ガ三千七百五
十万圓、營業稅ガ二千八百九十万圓、斯ウ
云フ又數字デ地租ガ著シク多イノデアリマ
ス、然ルニ現内閣ニナッテ此昭和五年ノ實
行豫算ヲ御作リナス、
タ總額ハ收入八億九
千六百万圓、地租ハ僅ニ六千七百七十萬圓
デ一割ニ達シナイヤウニナッテシマッタ、所
得稅ハ一躍二億四百万圓ニ昇リマシテ、營
業稅ハ五千九百三十萬圓、地租ト殆ド相接
スルヤウナ金高ニ上ッテ居ルノデアリマス、
本年度ノ豫算ヲ見マスト地租ガ六千四百七
十万圓デ、昭和四年度ノ實行豫算カラ見マ
スト僅ニ三百四十万圓デ、昭和六年ノ地租
金額ハ昭和五年ノ實行豫算カラ三百万圓ダ
ケ減ラスト云フダケノ數字ガ出ルニ過ギナ
イノデアリマス、是ハ今ノ增稅云々ノ結果
ハ七年度ニ於テ效果ヲ現ハスノデアッテ、今

度ノ五年度ノ政府ノ豫算カラ云ヘバ僅ニ三
百万圓ダケガ此地租法案ガ通ルカ通ラヌカ
ト云フコトニ於テ豫算ノ上ニ之ヲ證スルノ
リモ營業稅ヨリモ三分ノ一程ノ稅ノ總額ヲ
持テ居タノデアリマス、大正三年ノ歐羅
巴大戰ノ先頃カラ問題ニナリマシタ時ニ
ハ、國稅總額ガ三億四千三百万圓ノ中地租
ガ七千四百九十万圓デ所得稅ガ三千七百五
十万圓、營業稅ガ二千八百九十万圓、斯ウ
云フ又數字デ地租ガ著シク多イノデアリマ
ス、然ルニ現内閣ニナッテ此昭和五年ノ實
行豫算ヲ御作リナス、
タ總額ハ收入八億九
千六百万圓、地租ハ僅ニ六千七百七十萬圓
デ一割ニ達シナイヤウニナッテシマッタ、所
得稅ハ一躍二億四百万圓ニ昇リマシテ、營
業稅ハ五千九百三十萬圓、地租ト殆ド相接
スルヤウナ金高ニ上ッテ居ルノデアリマス、
本年度ノ豫算ヲ見マスト地租ガ六千四百七
十万圓デ、昭和四年度ノ實行豫算カラ見マ
スト僅ニ三百四十万圓デ、昭和六年ノ地租
金額ハ昭和五年ノ實行豫算カラ三百万圓ダ
ケ減ラスト云フダケノ數字ガ出ルニ過ギナ
イノデアリマス、是ハ今ノ増稅云々ノ結果
ハ七年度ニ於テ效果ヲ現ハスノデアッテ、今

度ノ五年度ノ政府ノ豫算カラ云ヘバ僅ニ三
百万圓ダケガ此地租法案ガ通ルカ通ラヌカ
ト云フコトニ於テ豫算ノ上ニ之ヲ證スルノ
リモ營業稅ヨリモ三分ノ一程ノ稅ノ總額ヲ
持テ居タノデアリマス、大正三年ノ歐羅
巴大戰ノ先頃カラ問題ニナリマシタ時ニ
ハ、國稅總額ガ三億四千三百万圓ノ中地租
ガ七千四百九十万圓デ所得稅ガ三千七百五
十万圓、營業稅ガ二千八百九十万圓、斯ウ
云フ又數字デ地租ガ著シク多イノデアリマ
ス、然ルニ現内閣ニナッテ此昭和五年ノ實
行豫算ヲ御作リナス、
タ總額ハ收入八億九
千六百万圓、地租ハ僅ニ六千七百七十萬圓
デ一割ニ達シナイヤウニナッテシマッタ、所
得稅ハ一躍二億四百万圓ニ昇リマシテ、營
業稅ハ五千九百三十萬圓、地租ト殆ド相接
スルヤウナ金高ニ上ッテ居ルノデアリマス、
本年度ノ豫算ヲ見マスト地租ガ六千四百七
十万圓デ、昭和四年度ノ實行豫算カラ見マ
スト僅ニ三百四十万圓デ、昭和六年ノ地租
金額ハ昭和五年ノ實行豫算カラ三百万圓ダ
ケ減ラスト云フダケノ數字ガ出ルニ過ギナ
イノデアリマス、是ハ今ノ増稅云々ノ結果
ハ七年度ニ於テ效果ヲ現ハスノデアッテ、今

度ノ五年度ノ政府ノ豫算カラ云ヘバ僅ニ三
百万圓ダケガ此地租法案ガ通ルカ通ラヌカ
ト云フコトニ於テ豫算ノ上ニ之ヲ證スルノ
リモ營業稅ヨリモ三分ノ一程ノ稅ノ總額ヲ
持テ居タノデアリマス、大正三年ノ歐羅
巴大戰ノ先頃カラ問題ニナリマシタ時ニ
ハ、國稅總額ガ三億四千三百万圓ノ中地租
ガ七千四百九十万圓デ所得稅ガ三千七百五
十万圓、營業稅ガ二千八百九十万圓、斯ウ
云フ又數字デ地租ガ著シク多イノデアリマ
ス、然ルニ現内閣ニナッテ此昭和五年ノ實
行豫算ヲ御作リナス、
タ總額ハ收入八億九
千六百万圓、地租ハ僅ニ六千七百七十萬圓
デ一割ニ達シナイヤウニナッテシマッタ、所
得稅ハ一躍二億四百万圓ニ昇リマシテ、營
業稅ハ五千九百三十萬圓、地租ト殆ド相接
スルヤウナ金高ニ上ッテ居ルノデアリマス、
本年度ノ豫算ヲ見マスト地租ガ六千四百七
十万圓デ、昭和四年度ノ實行豫算カラ見マ
スト僅ニ三百四十万圓デ、昭和六年ノ地租
金額ハ昭和五年ノ實行豫算カラ三百万圓ダ
ケ減ラスト云フダケノ數字ガ出ルニ過ギナ
イノデアリマス、是ハ今ノ増稅云々ノ結果
ハ七年度ニ於テ效果ヲ現ハスノデアッテ、今

人ノ土地デ同ジ價値ノアルモノデモ、一圓
ノ地代モアレバ三十錢ノ地代モアル、現ニ
此委員ノ中ニモ地面ヲ御持チニナッテ居ル、
細川侯爵ノ如キハ隨分御持チニナッテ居ル、
ハ地價ヲ修正シテ一億四千万圓ノ地價ヲ市
街宅地ハ七億万圓ニ上ゲ、サウシテ此度又
非常ナ理想カラ此賃貸價格ト云フ法律ヲ御
作リニナル、是ハ一體何處ノ法律デ……コ
ンナコトデ日本ノ古イ歴史アル地租ヲ根本
カラ改メルト云フヤウナコトハ何處カラ一
體御考ヘニナッタカト云フコトヲ大藏省ノ
屬僚カラ聽キマスト、是ハ佛蘭西ニ斯ウ云
フ法律ガアル、佛蘭西ノドウモ……近頃御
役所デ、土地ヲ持ッタ經驗モナシ、色々苦勞
ヲシタコトモナイ方ガ洋行シテ、佛蘭西ニ
スウ云フ法律ガアルトカ、獨逸ニ斯ウ云フ
勞働法ガアルトカ云フコトデ、之ヲ翻譯シ
テ持ッテ御歸リニナル位、國民ノ災難ハナイ
ノデアリマス、此度ノ賃貸價格ナドト云フ
モノハ公平ヲ期スル爲ニ御作リナサル賃貸
價格其モノガ却テ不公平ノ非常ナエライモ
ノガ起キハシナイカト思フ、土地ノ値打力
ラ云ヘバ商業會議所ノ所モ地代ガ十圓ノ値

打ガアルカモ知レヌ、五圓ノ值打ガアルカモ知レヌ、併シ最初開ケヌ所ニ依ツタナラ
バ、七十五錢デ貸シテアル、大名ノ屋敷ナドト云フモノハ地代ガ安い、昔自分ノ下屋
敷デアツタ所ナドハ安ク御貸シニナツテ居ルノモ事實デアル、大學ノ方ガ卒業シテ住ン
デ居ル西片町十番地ナンカハ阿部サンノ所デ地代ハ安い、今度附近ノ町内ノ割合ニ依ツ
テ地價ヲ御修正ニナルト、一躍シテ非常ニ土地ノ位カラ云ヘバ非常ニ高イソコニ賃貸
價格ガ決メラレルノデアリマス、此經濟界不況ノ場合ニ、其大藏省ノ佛蘭西歸リノ御
方ノ理想ヲ實行スル爲ニ、社會ニ革命ヲ起スヤウナ稅制ヲ御布キニナルト云フコトハ、果シテ政治家トシテ得策デアルカ否カト
ト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、公平ガ期セラレルモノナラバ宜イガ、若シ公平
ガ期セラレルト云フ御話ガアルナラバ番地別ニシテ一ツ明細表ヲ二三、丸ノ内ナリ日
本橋ナリノ所ヲ二三頂戴シマスレバ、如何ニ公平ガ期セラレヌカト云フ證據ヲ私ハ數
字ノ上カラ論ジテ御参考ニ供シテ見タイト思フノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ賃貸價格
ニ公正ヲ期スルト云フコトデアルガ、却テ今迄度ミ農村ヲ樂ニシテヤリ、市街宅地
ニノミ稅ヲ御課シニナル、成程普通選舉ノ

結果、農村ニ住ンデ居ル農民ノ數ハ市ヤ町
ニ住ンデ居ル人ヨリモ多イカモ知レヌ、サ
ウ云フ意味デ以テ稅制ヲ御布キニナルト云
フコトハ、萬々大藏省デハ、無イト思フノ
デアリマス、唯農民ノミニ御同情ナス、テ居
ルガ、市ニ住ンデ居ル者必シモ富豪デヤナ
イノデアリマス、矢張リ失業者ノ一番多い
ノハ市町ニ住ンデ居ルモノデアル、俸給生
活者モ矢張リ市町ニ住ンデ居ルノデアリマ
ス、而モ商工業者、大キナ商人ヨリモ小サ
ナ商人ノ頭數ガ多イノデアリマス、殊ニ東
京ヤ大阪アタリノ此大都市ニ於テハ、近頃
ハ「デパートメント」ノ發達ノミナラズ、市
自身ガ御承知ノ通り販賣所ヲ設ケマス、サ
ウシテ益、小賣商人ト云フモノハ……現在
ノ東京市ノ小賣商人ナドト云フモノハ、三
分ノ一位残シテ三分ノ二位ハ要ラナイモノ
ニシテシマハナケレバナラスト云フノガ、
現在ノ經濟事情デアルノデアリマス、斯ウ
云フ經濟界ノ遷リ變リノ激シイ時ニ、多數
ノ市民ニ重大ナ影響ヲ起ス、而モ此内閣ガ
減稅ヲスルト樂シンデ居タノガ、急ニ此貨
物價格ヲ稅率ヲ改メテ、急ニ地主ト借地人
ト家主ニ對シテ地代値上ダ家賃ノ値上ゲト
云フヤウナ紛更ヲ來スト云フコトハ、時ヲ
得タモノデアルヤ否ヤト云フコトニ付テ、

疑ヲ懷クノデアリマス、サウ云フ風ナ影響ヲ與ヘルカト云フコトニ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、幸ニ現内閣ガ財政竝ニ税制ノ大整理ヲ爲サウト云フ御決心ガアルナラバ、僅ニ來年度ノ豫算ニ三百万圓シカ違ハナイ所ノ宅地租ノ爲ニ、ソレ程危險ノコトヲ實行ナスツテ全國百九ツノ市民、千六百ノ町民ガ現内閣ヲ恨ムヤウナコトヲナサルト云フコトハ、果シテ政治家トシテ得策デアルヤ否ヤト云フコトヲ衷心ヨリ疑フノデアリマス、殊ニ大藏大臣ハ個人トシマシテ我ミ最モ尊敬シテ居ル大藏大臣デアル、殊ニ交誼ヲ厚クシテ居ル大藏大臣、殊ニ我ミガ最モ希望シタ金解禁ヲ斷行シテ吳レタ大藏大臣、其人ノ御出シナスツタ此原案ニ對シテ斯カル質疑ヲ爲シ、意見ヲ述ベルト云フコトハ、心中甚ダ相濟マヌヤウナ氣分ガ私ハスルノデアリマス、併ナガラ我ミ商工業ニ經驗アル者トシテ此處ニ席ヲ持ツ以上ハ全國商工民ノ利害ニ重大ナ關係アルコトヲ言ハヌデ默スルト云フコトハ義務ヂヤナイト思フノデアリマスカラ、總テノ情實ヲ忍ビマシテ茲ニ此意見ヲ述ベルノデアリマス、幸ニ公平ナ御判断ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 私カラ一應御答へ致シマシテ、政府委員カラ尙ほ詳細ノコトヲ説明イタサセルコトニ致シマス、此田畠ノ地租、宅地ノ地租ノ過去ノ歴史ハ只今大橋サンガ述べラレタ通りアリマス、大橋サンノ述べラレタ事情ヲ私ハ材料ニ採テ申シマスト、大橋サンノ言ハレタヤウナ根據ガ何時モ此地租條令ノ改正ヲ必要トスルト云フ理窟ニナリマス、ナゼナリマスカト云フト日本ノ數十年間ノ歴史ニ於テ殊ニ最近ノ經濟界ノ變動ニ於テ、市街地ノ方ガ餘計ニ繁昌シテ居ル、農村ト云フモノハ此長イ經濟界ノ狀態ニモ變テ居ナイ、農村ノ負擔ハ……殊ニ教育費ヲ何時モ申シマスガ、農村ノ負擔ハ決シテ輕クナインデ、其點ニ付テハ市街ノ方ガ經濟界ノ狀態デ言ヘバ繁昌シテ居ル、繁昌ト云フコトハ所謂土地ノ價格ト申シマスカ、賃貸價格ト申シマスカ、サウ云フモノガ、非常ニ變動シテ居ルノダ、斯ウ云フコトデアリマシテ、今度ノ賃貸價格ノ調査ヲ致シマスノハ、過去ノ歴史ヲ全ク水ニ流シテシマヒマシテ、左様ナ不公平ガアルナラバ、一遍同ジ立場デ、同ジ目テツ田地、田畠、宅地、各地目ニ付テ調査シテ見ヤウ、ソレヲスルノニハ只今御批評モアリマシタケレドモ、

土地ヲ一つ持テ居ル、之ヲ必ズシモ貸シチヤ居ナイ、貸シチャ居ナイケレドモ、貸シタナラ幾ラノ賃貸價格ガ是カラ上ツテ來ルダラウ、即チ之ヲ貸シテ見タナラバ、此土地ト云フモノハ幾ラノ價值ノアルモノデアラウカト云フコトヲ一つ標準ニ置イテ、日本全國ヲ調査イタシマシタ結果ガ、只今大橋サンが何時モコトヲ正當デナイト言ハレルナラ別デアリマスガ、正當ト致シテ見マスト、市街宅地ヲ持テ居ル人ノ方ガ、現在ノ地價ニ依テ納メル地租ヨリカ、賃貸價格ハ高クナラテ居ル、即チ市街宅地ヲ持テ居ル人ノ方ガ賃貸價格ガ餘計取レルノダ、斯ウ云フ結果ニナリマシタノデアリマスカラ、ソコデ其結果ガ同ジ立場デ、同ジ目デ見タノデアルカラ、税率ハ一緒ニシテ三點八ニ致シマスト、農村ノ方ガ減税ニナリテ、市街宅地ノ方ガ増税ニナル、斯ウ云フ結果ヲ生ジマスケレドモ、只今大橋サンノ言ハレルヤウニ、成程市街宅地ノ立場カラ言ヘバサウデゴザイマス、併ナガラ農村ノ立場カラ言ヘバ此賃貸價格ノ調査方正シイタスレバ、我ミハ是迄餘計ナ負擔ヲシテ居タ、餘計ト云フ言葉ハ惡ウゴザイマスケレドモ、我ミハ公正デナイ租稅ノ負擔ヲシテ居タ、ソレヲスル居タングカラ、賃貸價格ニ依テ、田畠ト

宅地ノ間ノ公正ナ立場ガ取レタ以上ハ、我我ノ田地田畠ニ對スル負擔ガ輕クナルト云フコトハ當然ダト云フ私ハ結果ニナルベキモノデアラウト思ヒマス、過去ノ歴史ハ大橋サンガ言ハレル如クヤリマシタデスガ、ナ考ガ出來タノデアリマス、只今政府委員ノ答ニ對シテ、賃貸價格ノ調査ト云フコトハ、佛蘭西ノ法律ヲ採タノデ、日本ニハ適當シナイト言ヘラマスケレドモ、先日水野サンノ質問ニ對シテモ御答ヘシタヤウニ、是ハ大正十五年ノ時ニ隨分議論シタ結果デ、各種ノモノヲ擧ゲマシテ、田地ノ賣買價格ヲ以テ課稅標準ニシャウ、ソレカラ田地カラ實際上ツテ來ル收入ヲ標準トシテ、一ノ法定地價ヲ變ヘテ見ヤウト云フヤウナモノト、賃貸價格ト、三ツノ間ニ非常ナル論争ガアリマシタ結果ガ賃貸價格ト云フモノモ、是ハ當然デアリマスガ、併ナガラ公正ヲ圖ル上カラ言ッテ、一遍改正シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ大橋サンモ御認メ下サルダラウト思ヒマスガ、サウスルトドコカニ斯ウ云フコトハ必ズ一遍ハ出テ來ザルヲ得ナインデアリマス、若シ強ヒテ申シマスレバ、今日ノヤウナ經濟界ノ時ニ、コンマスルカ知レマセヌガ、今日ノヤウナ減税ナ變動ヲセヌデモ宜イデヤナイカト言ハレマス

ニソシナモノヲ、翻譯モノヲ適用シタ譯デモ何デモナインデアリマス、ノミナラズ是ガ實際ニ一番適當スルデアラウ、斯ウ云フコトデアリマシテ、決シテ佛蘭西ノ法律ヲ其儘、其燒直シヲシテ、直ニ大藏省ガ勝手ニソシナモノヲ、翻譯モノヲ適用シタ譯デモ何デモナインデアリマス、ノミナラズ是ガ實際ニ一番適當スルデアラウ、斯ウ云フコトモ一方カラ申シマスレバ、若シ減税ガナカツタナラバ、九百万圓ノ市街宅地ノ増、田畠ガ九百万圓ノ減デアリマス、ソレ

ヲ今度千八十何万圓減税イタシマスレバ、農村ハ千五百万圓ノ減税デ、市街宅地ハ五百何十万圓カ殖エルト云フコトニナリマスカラ、其意味ニ於テ大變便利ダラウト思ヒマス、只今大橋サンガ言ハレタ三百万圓ホカ減税ニナラスト云フコトハ、政府委員カラサウデナイ、此昭和九年ニ六百何十万圓ノ地租ノ減税ニナルト云フコトヲ御説明申上ゲマス。

○大橋新太郎君 今私ガ申上ゲマシタノハ、大藏省カラ戴イタ大正六年度豫算参考書ニ付テ言フノデ、私方算盤ヲ採ッタノデヤナイノデアリマス。

○政府委員(青木得三君) 御答へ致シマス、ソレハ豫算参考書ニアリマス數字ヲ能ク申上ゲナケレバナリマセヌガ、只今ノ御話ハ昭和六年度ノコトデゴザイマス、此減税金額ト申シマスモノハ、前ニ此問題デマダ申上ゲナカッタカ知レマセヌガ、減税ヲシナカッタナラバ……昭和六年度ニ於テ減税アリマス、サウ致シマスルト云フト、昭和減税ヲスレバ幾ラニナルト云フコトヲ第二段ニ計算イタシマシテ、其差額ヲ以テ減税金額ト申スノミデゴザイマス、是ハ織物消費税デモ、營業収益税デモ、砂糖消費税デモ、總テ減税ヲシナケレバ幾ラ取レル所デアル、減税ヲスルカラ此位ニナル、其差額ガ減税金額デアル、ソコデ昭和六年度ノコトヲ申上ゲマスルト云フト、昭和六年度ニ於テ若シ地租ヲ減税イタシマセヌケレバ、即チ税率ハ百分ノ四點五デ以テ地租ヲ取ッタ時ニス、其百分ノ四點五デ以テ地租ヲ取ッタ時ニ幾ラノ地租ガ取レルカト云フコトヲ調査計算ヲ致シマスト云フト、其金額ハ七千五百十五万九千三百九十五圓ト云フコトニ相成ルノデアリマス、然ルニ此度其税率ヲ六年度ニ限リ百分ノ四ニ致シマスカラシテ、其點ニ於テ六千四百七十八万九千圓ト云フ税ニ於テ六千四百七十八万九千圓ト云フ税ヲ取ルコトニナリマス、ソコデ大橋サンガ其差額ハ極ク僅カデアル、斯ウ云フコトヲ仰セニナリマスケレドモ、是ハ詳細御説明申上ゲマセヌト御分リニクイカト思ヒマスガ、此度問題ニナッテ居リマス田租ハ非常ニ減ルノデアリマス、所ガ田租ト云フモノハ一年ニ四期ニ分テ取ルノデアリマシテ、田租ノ第四期分ト云フノハ五月ニ這入ルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、昭和六年度ノ五月ニ這入ルノデアリマス所ノモノハ、歲入ト致シマシテハ昭和六年度ノ歲入デアリマスガ、ソレハ昭和五年分ノ地租デアリマスカラ、ソレハ減ラナイ地租ガ這

モ、テ昭和六年度ニ於キマシテハ、其田租ノ第テ昭和六年度ノ第四期分ガ昭和六年度ニ四期分ガ減ラナイデ這入ルト云フ關係カラス、三百二十八万圓アルノデアリマス、此三百二十八万圓ト云フモノヲ計算ニ入レマスト云フト、只今御舉ゲニナリマンテ豫算ノ數字ニナリマスガ、是ハ其田租ノ納期ノ關係ナッテカラ這入テ來ルト云フ關係ナノデアリマシテ、ソレデサウ云フ結果ニナルノデアリマス。

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ハ長ウ後デモ宜シウゴザイマスカ

○大橋新太郎君 長クモアリマセヌガ、午後デモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ハ長ウ後デモ宜シウゴザイマス

○大橋新太郎君 長クモアリマセヌガ、午後デモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ是テ休憩イタシマス、午後ハ本會議ナリ豫算委員會ノ關係モゴザイマセウガ、鬼ニ角此會ハ一時半ニ開クト致シテ置キマス、尙ほ總理大臣ハ此會ニハ三時頃ニ御出席ノ御都合デゴザイマス

午前十一時五十一分休憩 午後三時四分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 是ヨリ委員會

入ルノデアリマス、大藏大臣ニ別ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴザイマスレバ御願ヒ致シマス

○大橋新太郎君 今朝程ノ續キヲヤッテ宜シウゴザイマスカ

○大橋新太郎君 此只今賃貸價格ノ均衡ヲ得ルコトニ付キマシテ一應御意見ヲ伺ヒタイノデスガ、田畠ノヤウニ例ヘバ一反歩ニ米ガ何俵取レルトカ、是ハ地方ニ依テハ無論多ク取レル地方モアリマセウシ、色々ナラバ幾ラト云フヤウナ地方ノ習慣モアリマセウガ、是ハ田畠デアリマスト何割ヲ地主ガ取ッテ何割ヲ小作人ガ取ルトカ云フヤウナコトデ、國稅ヲ納メル場合ニモ其上ル物ガ極メテ明瞭デアリマスカラ、此賃貸價格ナドヲ算出スル標準ニ依テ御決メニナルト云フコトハ出來サウナモノデアリマス、事情ヲ異ニスル所ノ土地ノ宅地ト申シマスト、丁度住宅ト工場ノ兩方宅地デスガ、斯ウ云フ風ノモノヲソレト同ジヤウニ御取りニナルト云フコトガ……公平ナル標準ニ依テ取ルト云フコトハ事實ニ於テ不可能ノコトガ多クナイカト思フノデアリマス、今ノ

東京ノ土地デ何町ハドウ云フ標準デ取ルト
云フコトヲ、假リニ何番地ハ何圓ト云フコ
トヲ決メテモ、其番地番地ノ其地主ニ依フテ
圓デ貸シテ居ル者モアルシ五十錢デ貸シテ
非常ナ懸隔ガアル、ソレカラ又町内デモ一
而モ東京ノヤウニ元ノ土地ガ大名ナリ旗本
ナリノ屋敷ノ土地ガ御一新ノ際ニ或ハ民有
地ニナツタモノモアルシ、或ハ其儘残フテ居
ルモノモアル、又他ノ地主ノ買タノモアリ
マスシ千差萬別デアリマスガ、多クハ家主
ト地主トハ先頃モ申シマシタヤウニ離レテ
居リマス、同ジ町内デ同ジ價値ノアル土地
ガ事實地代ト云フモノハ非常ナ茲ニ相違ガ
アツテ、或ル意味カラ言ヘバ不公平ナモノカ
モ知レヌケレドモ、ソレハ即チ自然ノ習慣
デ安ク買タ者ハ安ク貸シテ居ル、又高ク
買タモノハ高ク貸シテ居ルト云フヤウナ
コトデ、茲ニ地代ト云フモノハ非常ナ懸隔
ガアル、ソレヲココニ一つノ標準ヲ立テテ、
云フコトヲ御決メニナレバ、實際ノ現在ノ
地代ト云フモノト離レタ標準ノ賃貸價格ト
云フモノガ出來ル譯デアリマス、ソレヲ以
テ御取リニナレバ、是ハ賃貸價格ト云フモ
ノガ地代ノ標準ニナルノデアリマスカラ、

地主ハ此定メラレタル賃貸價格ノ標準ニ
依テ地代ヲ取ラウトスル、借地人ハ此不景
氣ノ時ニ三割モ五割モ地代ヲ上ゲラレテハ
困ルト云フノデ、茲ニ一ツノ紛争ヲ來スト
云フコトハ當然ノ結果デアラウト思ヒマ
ス、現ニ此我ミ頂戴イタンマシタ書類ノ中
ニモ……假リニ此處ニ居ラレル副委員長ノ
阪谷男爵ノ御住ヒニナツテ居ル小石川區ノ
如ク、今マデノ地租ガ八万七千圓デ、今度
ノガ二十五万八千圓、茲ニ平均シテ凡ソ十
九割六分四厘ト云フヤウナ増稅ガサレル結
果ニナルノデアリマス、ソレ故ニ小石川區
ノ元ノ旗本屋敷ノ安カツ所ノ地代ガ一躍
シテ此平均デ十九割六分四厘ト云フモノガ
地代ガ上ゲラレルコトニナル、サウ云フ急
激ナコトヲ此經濟界ノ不況ノ際ニ決行シテ
モ紛争ガ起キナイト御考ヘニナルト云フコ
トハ、餘リ事實ヲ無視シタモノデヤナイカ、
又果シテ公平ナコトヲ……其土地ノ値打通
リニ公平ニヤツテ賃貸價格ヲ一律ニ決メテ、
サウシテ長イ歴史ヲ無視スルト云フヤウナ
コトガ、果シテ政治トシテ公平ナル政治デ
アルカ否カト云フコトニ付テ御所見ヲ承ハ
リタイ

マシテ御了解ヲ得ナケレバナラヌト思ヒマスガ、大橋サンガ午前中ニモ仰セニナリマシタヤウニ、此度取調べマシタ賃貸價格ト居ラレル地代ト違フト云フコトハ十分認メテ居リマス、今大橋サンノ仰セニナリマスルヤウニ、同ジ狀況ノ土地ガ東京ト大阪ニアル、或ハ同ジ東京内デ華族サンガ持テ御出デニナル所ハ其地代ハ安い、全ク狀況ノ同ジ土地デアリマシテモ、其地主ニ依ッテハ、今ノ東京市ノ例ニ付キマシテモ華族サソヨリ高イ地代ヲ取ッテ居ルト云フコトハ隨分ゴザイマス、是ハ十分私ハ承知イタシマスガ、是ハ前回モ申上ゲタヤウニ、地租ト云フモノハ所得稅デハナイノデアリマス、所得ニ課稅ヲスルト云フコトデアリマスレバ、是ハ地租ト云フモノヲ別ニ設ケル必要ガ無イノデアリマス、所得稅ト云フモノヲ日本ノ直接稅ノ根幹ト致シマシテ、所得ニ對シマシテハアナタノ仰セニナリマスヤウニ、多イ地代ヲ取ル人ニハ多イ所得稅ヲ掛け、少イ地代ヲ取ル人ニハ少イ所得稅ヲ掛けルノデアリマスガ、是ハ所得稅デハナインデアリマス、所得稅ダケヲ掛けテ居テハ、土地カラ上ル所ノ所得ノアル人ト働カテ所得ヲ得テ居ル人トノ間ニ、同ジ百圓

ノ所得ガアリマシテモ、ソレハ負擔力ニ於テ違フト言ハナケレバナリマセヌ、ソレデアリマスカラ補完稅ト云フモノヲ設ケルノデアリマス、其補完稅ニ於キマシテハ所得ヲ標準ニスルノデアリマセヌカラ、實際取フテ御出デニナル所ノ所得ガ、少クトモ其土地ノ狀況ガ全ク同ジ狀況ニアリマス以上ハ、補完稅トシテハ同ジ課稅ヲスベキモノニアルト心得テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、土地ノ課稅標準ノ貨貸價格ト致シマシテ……只今大橋サンノ仰セニナリマシタヤウニ標準貨貸價格デアリマス、條文ニモ標準貨貸價格ト書イテアリマス、又收得スベキ金額ヲ云フト書イテアリマシテ、現實所得シテ御出デニナル所ノ金額ヲ課稅標準トスルト云フ趣旨デハナイノデゴザイマスカラ、デゴザイマスカラ、實際取フテ居ルモノト違フ カライカヌト云フ御議論ニ對シテハ私共ハ承服イタシ兼不ルノデアリマス、ソレデ此宅地ノ貨貸價格ヲ調査イタシマシタ方法ヲ申上ゲマスト云フト、市街地及ビ之ニ準ズベキ集團宅地即チ宅地ガ集マツテ居リマスル所ハ、申上ゲル迄モナク其土地ノ位置ニ依リマシテ、利用價値ガ大變ニ相違イタシテ居リマスカラ、ソレハ市街宅地ニ付キマシテハ、各筆毎ニ實地

ヲ見マシテ其賃貸價格ヲ定メタノデアリマシテ、ソレヲ致シマスニ付テハ、同ジ隣接ノ土地デアリマシテモ、例ヘバ角地デ申シマスト云フト、其利用價值ガ多イノデアリマスカラ、其賃貸價格ハ相當高ク評價イタシテ居リマス、或ハ又隣接イタシテ居リマシテモ、ソレガ袋地デアリマシタリ、或ハ裏地デアリマシテ、利用上不便デアリマスモノハ、他ノ土地ヨリモ隣接イタシテ居リマシテモ、袋地デアレバ賃貸價格ヲ低ク評定イタシテ居リマス、ソレカラ又同ジ面積ノ土地デアリマシテモ、奥行ガ長クテ、サウシテ間口ノ狭イ所デアルカ、或ハ角ガ真四角デアルカ、或ハイビツニナッテ思ルカ、或ハ地盤ガ平地デアルカ、或ハソコニ崖地ガ入ッテ居ルカト云フヤウナ狀況ヲモ具サニ考慮ニ入レマシテ、サウシテ賃貸價格ヲ評定イタシテ居ルノデアリマス、地價ヲ取調べマス場合ニハ、是ハ大権サンガ先程仰セニナリマシタヤウニ、明治初年ノ地價ハ收穫カラ換算シテ居リマス、所ガ收穫ト申シテ御出デニナツテ所得ヲセラルルト云フ場合ヲ考ヘマスト云フト、自作、小作デ場合ガ非常ニ違ヒマス、ソレデアリマスカラ、此所得以外ノ補完稅トシテ考ヘル時ニハ、

收穫ヲ基礎トセズニ、其地主ノ方ガ遊ンデ御出デニナツテモ入ルモノヲ標準ニスルノガ宜イト云フノガ、其地價ヲヤメテ賃貸價格ヲ標準ニスルト云フノデアリマスカラ、シタケレドモ、是ハ英吉利ニモ其例ガアリマシテ、又日本ニ於テモ地租ヲ改正スル時ニ、賃貸價格ヲ以テ最モ適當ナル課稅標準デアルト考ヘルコトハ、大藏省ニ於テハ大正十五年ニ法律ヲ布カルル以前、數年前ニ既ニ考ヘテ置イタト云フコトヲ先程申上げタ次第デアリマス。

○大橋新太郎君 只今主稅局長ノ御話ノ通りノコトハ私ハ承知シテ居ル、ソレガ詰リ事實ニ於テ非常ナ紛議ヲ起シ、論争ヲ起ス原因ニナルダラウト思フ、元來カラ言ヒマスレバ、同ジ町内デ假リニ先ヅ、先キニ一例ヲ舉ゲマシタ丸ノ内ノ商業會議所ノ土地ノ途ノ十分アル所デアル、ソレカラ其裏通リノアノ三菱ノ三階ノ赤煉瓦ノ所ガアリマスネ、斯ウ云フ所ノ地面デモ、商業會議所ノ所ハ最初ニ安ク貸シテヤレバ矢張リ今日モ安ク貸シテ居ルノデスネ、サッキ見タヤウニ四十五錢位ノ地代デ……アレヨリ惡イ裏高ク認メタカラ、ソレニ依ッテ賃貸價格ヲ高シタル、又借地人ガソレニ對シテ不服ヲ言々テモ、一札這入ッテ見レバ其契約ヲ以テ地代

レバソレデ貸セルカモ知レヌ、ソレガ今度賃貸價格ガ……三菱ノヤウナ大地主デアッテ、良イ所ヲ澤山持テ居ル者ハ、一角ニ何モ安クナクテ、高ク稅ガ掛クタ所ガ、其人ハ又他ノ地代ガ取レル所ガアルカラ、サウ云フ人ノコトハ先ヅ構ハヌトシマシテモ、日本橋ニセヨ小石川ニセヨ、牛込ニセヨ、色々大變複雜シテ居ル所ノ地主ガ、今マデ地代ヲ……地價ガ安クテ、ソレデ賃貸ヲ安ク決メテモ宜イノデスケレドモ、今度今ノ御話ノ標準デ以テ賃貸價格ノ標準ヲ御決メニシタ土地モ、土地ノ價值ニシテ言ウテ矢張リ同ジ價值、同ジ地面ナラバ同ジ角地面デ以テ又同ジ表通リデアレバ同ジ利用デ言フト同ジ價值ノアルモノガ、矢張リ高イ賃貸價格ガ茲ニ査定サレル譯ニナル、サウ云フコトハ今現在角地ナリ何ナリノ地代ノ習慣ヲ根柢カラ破ルモノデアッテ、サウ云フ風ノコトハ多ケレバ、稅ノミカラ云ヘバ公平カモ知レヌケレドモ、今度借主カラ言ヘバ非常ナ紛争ガソコニ起ル、地代ガ騰クタカラ今シタモノヲ一つノ標準トスルノデス、元來市ノ財政ハ何ニ依ルカト云ヘバ、家ノ賃貸價格ニ依ル、家ノ賃貸ニ依ルノガ倫敦ノ主ノ經濟ト云フモノハ大キナモノデ、其倫敦テ佛蘭西ト云フコトヲ申上ゲタノデ、英吉利ノ倫敦ハアレ程ノ大都市デ、非常ナ倫敦ノ經濟ト云フモノハ大キナモノデ、其倫敦ノ財政ハ何ニ依ルカト云ヘバ、家ノ賃貸價格ニ依ル、家ノ賃貸ニ依ルノガ倫敦ノ主ノ財源デアル、ソレハ土地ト家屋トヲ合シタモノヲ一つノ標準トスルノデス、元來宅地ハ上ノ建物ノ良イノト惡イノトデ大變違フ、同ジ建物ニシテモ丸ノ内ノヤウナ十階モアレバ又長屋ノヤウナ普請ヲスルノモアッテ、大變土地ノ利用ガ違フ、同ジ値打ノ土地デモ上ニ造ル建物ノ如何ニ依ッテ、土地ノ價值ト云フモノガ非常ニ違テ來ル譯デ、現ニ東京市ノ焼クタ後ニ又木造家屋バカリケ不燃質物ノ地震ニモ火事ニモ耐エル建築

ヲ致サセルヤウニト、今ノ大藏大臣ヤ民間ノ有力者ノ御心配ニ依リマシテ、今ノ復興建築會社ト云フモノガ出來テ、ソレデ不燃質ノ家屋ヲ造ル者ニハ低利デ資金ヲ貸シテヤル、所ガ是等モママ東京全市ニ對シマスト、其本建築ハ約一割カソコラシカナイ、九割ハ例ノ「バラック」ノ建物ノ中ニマダ這入テ居ルヤウナ狀態デアル、サウシテ最近ハモウ金ヲ貸セルノニ借リニ來ル人ガ無クナツテ居ル、貸家ヲ造ッテモ貸家ガ空クカラサウ云フモノヲ造ラヌヤウナ狀態ニナツテ居ル、ソレデ高イ所カラ焼ケタ所ヲ見下シニナツテ御覽ニナレバ、如何ニモ慘澹タル狀態デト云フコトハ、高イ所カラ、日本橋ナリ京橋ノ此地震ノ跡ヲ御覽ニナレバ、今ノ東京市ノ經濟ヲ實ニ能ク形ノ上ニ云ヒ現ハシテ居ルト云フコトガ能ク分ル、マダ空地ガアレバ、此今ノ「バラック」ヲ造ッテ居ルモノデモ何デモ、丸ノ内ノ建物ト同ジヤウナ値打ノアル場所ハソレト同ジヤウナ賃貸價格ヲ認メテ、サウシテ地代ヲ取ルト云フコトニナレバ、云フベカラザル一ツ茲ニ紛更ヲ來ス譯デス、左様ナ紛更ヲ來スト云フヤウナコトガ此場合ニ適當ナル……體斯ウ云フ不景氣ノ時ニ、人ノ泣イテ居ル時ニ、一方

ニ斯ウ云フコトヲ爲サルト云フノハ、國家ノ財政ニ餘裕ガアツテオヤリ爲サルノナラ築會社ト云フモノガ出來テ、ソレデ不燃質ノ家屋ヲ造ル者ニハ低利デ資金ヲ貸シテヤル、所ガ是等モママ東京全市ニ對シマスト、其本建築ハ約一割カソコラシカナイ、九割ハ例ノ「バラック」ノ建物ノ中ニマダ這入テ居ルヤウナ狀態デアル、サウシテ最近ハモウ金ヲ貸セルノニ借リニ來ル人ガ無クナツテ居ル、貸家ヲ造ッテモ貸家ガ空クカラサウ云フモノヲ造ラヌヤウナ狀態ニナツテ居ル、ソレデ高イ所カラ焼ケタ所ヲ見下シニナツテ御覽ニナレバ、如何ニモ慘澹タル狀態デト云フコトハ、高イ所カラ、日本橋ナリ京橋ノ此地震ノ跡ヲ御覽ニナレバ、今ノ東京市ノ經濟ヲ實ニ能ク形ノ上ニ云ヒ現ハシテ居ルト云フコトガ能ク分ル、マダ空地ガアレバ、此今ノ「バラック」ヲ造ッテ居ルモノデモ何デモ、丸ノ内ノ建物ト同ジヤウナ値打ノアル場所ハソレト同ジヤウナ賃貸價格ヲ認メテ、サウシテ地代ヲ取ルト云フコトニナレバ、云フベカラザル一ツ茲ニ紛更ヲ來ス譯デス、左様ナ紛更ヲ來スト云フヤウナコトガ此場合ニ適當ナル……體斯ウ云フ不景氣ノ時ニ、人ノ泣イテ居ル時ニ、一方

日本中ノ面積カラ言ヒマスレバ、市ノ面積ハ昨日材料ヲ戴イタ表ニ依レバ三万九千町歩シカナイ、町ノ面積ハ七万五千町歩、同ジ土地デモ村ノ宅地ハ二十九万七千……約三十万町歩バカリノ、地租ガ増シタト云フカ十万町歩バカリノ、地租ガ増シタト云フ爲ニ、非常ナ重稅ヲ受ケテ居ル、非常ナ負擔ヲ増シテ居ル、同ジク農民ニハ勿論營業収益稅ハナイ、所得稅ハ無論アリマセウケレドモ、ソンナラ農民ガ養蠶ヲヤッタカラト言ッテ、別ニ營業稅ハ掛ラナイ、農民ハ常ニ土地ヲ買ッタカラト云フテ營業稅ハ掛ナライ、ソレデ市ヤ町ニ住ンデ居ル者ニハ矢張リ農民ト同ジク所得稅モアレバ、此高イ地位ノ上ニ營業収益稅ナルモノモ負擔シテ居ルト云フコトガ能ク分ル、マダ空地ガアレバ、此今ノ「バラック」ヲ造ッテ居ルモノデモ何デモ、丸ノ内ノ建物ト同ジヤウナ値打ノアル場所ハソレト同ジヤウナ賃貸價格ヲ認メテ、サウシテ地代ヲ取ルト云フコトニナレバ、云フベカラザル一ツ茲ニ紛更ヲ來ス譯デス、左様ナ紛更ヲ來スト云フヤウナコトガ此場合ニ適當ナル……體斯ウ云フ不景氣ノ時ニ、人ノ泣イテ居ル時ニ、一方

ニ斯ウ云フコトヲ爲サルト云フノハ、國家ノ財政ニ餘裕ガアツテオヤリ爲サルノナラバ、我ミ少シモ異議ノ無イ話デアル、併シ日本中ノ面積カラ言ヒマスレバ、市ノ面積ハ昨日材料ヲ戴イタ表ニ依レバ三万九千町歩シカナイ、町ノ面積ハ七万五千町歩、同ジ土地デモ村ノ宅地ハ二十九万七千……約三十万町歩バカリノ、地租ガ増シタト云フカ十万町歩バカリノ、地租ガ増シタト云フ爲ニ、非常ナ重稅ヲ受ケテ居ル、非常ナ負擔ヲ増シテ居ル、同ジク農民ニハ勿論營業収益稅ハナイ、所得稅ハ無論アリマセウケレドモ、ソンナラ農民ガ養蠶ヲヤッタカラト言ッテ、別ニ營業稅ハ掛ラナイ、農民ハ常ニ土地ヲ買ッタカラト云フテ營業稅ハ掛ナライ、ソレデ市ヤ町ニ住ンデ居ル者ニハ矢張リ農民ト同ジク所得稅モアレバ、此高イ地位ノ上ニ營業収益稅ナルモノモ負擔シテ居ルト云フコトガ能ク分ル、マダ空地ガアレバ、此今ノ「バラック」ヲ造ッテ居ルモノデモ何デモ、丸ノ内ノ建物ト同ジヤウナ値打ノアル場所ハソレト同ジヤウナ賃貸價格ヲ認メテ、サウシテ地代ヲ取ルト云フコトニナレバ、云フベカラザル一ツ茲ニ紛更ヲ來ス譯デス、左様ナ紛更ヲ來スト云フヤウナコトガ此場合ニ適當ナル……體斯ウ云フ不景氣ノ時ニ、人ノ泣イテ居ル時ニ、一方

ト、田畠ヨリカ割合ニ安ク出來ルノダ、即チ市街宅地ノ方ガ數十年間經濟上ノ變動ノ爲ニ田畠ヨリカ高クナッテ居ルノダ、ソレダカラ市街宅地ヲ有ツテ居ル人ガ餘計賃貸價格ヲ田畠ヨリカ取ラテ居ルノデアルカラ、其處所ニ持ツテ行カウト、斯ウ云フノデアリマスカラ、其處ノ所ヲ御覽下サイマスト、田畠等ノ農作物カラ得ル、賃貸價格カラ得ル、同ジ位ノ程度ノモノホカ取ラテ居ラナイ、ソレ程安イ地代デアルノダ、斯ウ想像サレケレバナラヌト、斯ウ例ヲ取ラレルト、大橋サンノ言ハレルヤウニナリマスケレドモ、

今度ハ調査シタ結果デモ分リマスガ、是マデ賃貸價格ニ依ツテ地租條例ヲ改正シナケレバナラヌト云トキハ、宅地ト田地田畠等カラ來ル賃貸價格ノ差ガ其處ニアルノデアリマス、即チ市街ノ宅地ノ方ガ過去ノ經濟狀態デ値打ガ上リ、收穫ガ多クナッテ居ル、田畠ハ左様ニ殖エテ居ナイ、斯ウ云フガ今ノヤウナ結果ヲ生ジタカラ、大橋サンノ言ハレルヤウナ例ペカリモ、サウ云フ例モアリマセウガ、アル所ニハアリマセウト思

ニコソナニ賃貸價格ガ殖エテ居リマスガ、スウ云フコトヲ考ヘテヤタ、サウ一時ニ平均ガ出來マセヌカラ、三倍八割ノモノハ三倍八割デ止メテシマッテ置カウト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、只今ノヤウナ例バカリヲ取ラレテ御考ヘニナルト、大分事情ガ達ヒマス

○大橋新太郎君 ドウモ實際ノ事情ニ遠ザカッタ御説明デアルヤウニ思フノデアリマス、何モ地方ガ今マデ一割上ルトカ五分上ルトカ云フヤウナ小額ノ稅ヲ御増シニナルノナラバ、何モ一割上タカラ、五分上タカラト云ツテ急激ニ借地人ニ其轉嫁ヲ求メル地主トシテ必要ハナイカモ知レス、市全體ヲ平均シテ七割八分四厘ト云フモノヲ御上ゲニナル、平均シテ市ハ七割八分四厘ト云フモノヲ本稅ヲ御上ゲニナル、附加稅モ亦順次上ツテ行ク、マア附加稅ノコトハ別問題トシテ、本稅ハ七割八分四厘上ゲタ、其内

ルケレドモ、東京市ハ七割九分デ、六大都ニナカルト云フコトハ餘リニ情ナイコトト思ヒマスノデ、ソレハ議論ニ瓦リマスルカラ、此質問ハ是デ止メテ置キマシテ、更ニ此御示シノ材料ノ自作農ニ賃貸價格デ免租モ是ハドノ位ノアレニナルカト云フト、二モ今ノ小石川區ハ十九割、何區ハ十五割上ゲルト云フヤウナ急激ニ茲ニ上ガッテ來スレバ、地主トシテ其增稅ノ負擔ヲ借地人ナリ借家人ニ轉嫁シナイデ全部地主ガ受取ルモノデヤナインデス、而モソレガ場所ニ依ツテハ三十八割マデモ上ゲルヤウナコトガ出來ルト云フヤウニ法律ヲ御改正ニナッテ居ル、三十八割モ上ガッタ所ノ土地ガ同ジ地代デ、其土地ノ値打ガ無論上ガッテ來ル、上ガッテ來マスケレドモ先刻モ申シタヤウニ宅地ノ方ノ、市街宅地ノ地租ヲ是マデ二十割マデ上ゲテ……其前三十割上ゲ、今度ハ二十割マデモ上ゲテ、サウシテソレヲ下ダナイデ行タラ農村ノ方ハ困ルダラノ稅モ皆負擔シナケレバナラヌ、其高イ地代ノ上ニモ地代ヲ拂ハナケレバナラヌ、今日ノ貴族院ノ本會議ニ此中小商工業者ニ付ケナイ營業ヲシテ居ル小商人ハ矢張リ總テノ稅モ皆負擔シナケレバナラヌ、其高イ地代ノ上ニモ地代ヲ拂ハナケレバナラヌ、今

日ノ貴族院ノ本會議ニ此中小商工業者ニ付ケナイ營業ヲシテ居ル小商人ハ矢張リ總テノ稅モ皆負擔シナケレバナラヌ、其高イ地代ノ上ニモ地代ヲ拂ハナケレバナラヌ、今モノハ農民ヲ救フノミヂヤナク、他ノ意味モ含ンデ居ルヤウニ私ハ承ツテ居マス、農民ノ五百九十八万、約六百万人近イ自作農者ニハ五百七十八万圓、唯免稅ヲシテ居ラル、其他ノモノハ是ト同ジ恩恵ヲ受取ルコトガ出來ヌ、同ジ社會政策ナリ、經濟政策ヲ御實行ナサルニシテモ一方ノミヲ尊重ナシテアル、此前カラ地價デ免租シテアリマスガ、其農民ノ數ガ八千八、其地租ガ免租ノ金額七百八十二万五千圓、自分ノ……而モ是ハドノ位ノアレニナルカト云フト、二百圓ト云フ賃貸價格ハドノ位ノモノヲサスコツチハウント殖エテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘマスト、其處ノ所ガ平均シテ來ルト、斯ウ云フコトヲ考ヘテヤタ、サウ一時ニ平均ガ出來マセヌカラ、三倍八割ノモノハ三倍八割デ止メテシマッテ置カウト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、只今ノヤウナ例バカリヲ取ラレテ御考ヘニナルト、大分事情ガ達ヒマス

云フモノガナイモノデゴザイマセウカ、又此御調べガ私ハ能ク：此表ハ十八號ノ表デスガ、更ニ私ハ昨日一體、日本ノ農家ノ數方幾ラアルカト云フコトヲ此席デナリ、御質問スルト日本ノ農家ノ戸數ハ五百五十戸アッテ、其中、自作農方百七十四万戸、小作農方百四十八万、自作ト小作ヲ兼ネテ居ルモノガ二百三十餘万軒デ残ラズデ日本ノ農家ハ五百五十七万シカナインニ免稅ヲ受ケル……十八號ノ貨貸價格二百圓マデ免稅ヲ受ケル人數ガ五百九十七万八千人アルト云フノハ色ニ重複シ居る關係モアリマセウガ、餘リニ我ニ御交付ニナル此材料ガ事實ニ遠ザカタモノヲ御配付ニナッテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ感想ヲ致シマス、此事ヲチヨット承リタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ニ申シマスガ、只今總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、御質問ノ方ニ御許シ致シタイト思ヒマス、森田君

○森田福市君 四人程ノ質問ダサウデアリマスガ、時間ハ……若シ、續ケ得ラレルノマスガ、時間ハ……若シ、續ケ得ラレルノマスガ、或ハ又質問ノ方ノ都合ガアルノデアリマセウカ、或ハ又質問ノ方ノ都合ガアルノデアリマセウカ、幾ラ質問シテモ宜シヒマシテ、ソレカラニ致シマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ドウゾ四分ノ一グラキニ願ヒマス

○森田福市君 成ベク簡単ニ質問シマスカタイト思ヒマス、サウシサヘスレバ極ク短クテモ濟ムノデアリマス、答辯方要領ヲ得ヌト勢ヒ次ヘ次ヘ行カナケレバナラヌヤウニナリマスカラ、長クナリマス、第一ニ、總理大臣ニ御伺ヒシタ、病後ノコトデアラセラレルサウデアリマスカラ……ト思ヒマリマスノニハ、時間ヲ矢張リ見計ラッテヤッタラ宜イカト思フ、成ベク簡単ニハヤリマスノデ、私ガ一人長クヤッテモイカヌ、ト云

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 私ハ御承知ノ通アトニ譲リマシテ宜シウゴザイマスカラ是デ一先ヅ止メマス

○大橋新太郎君 ソレナラバ私ノ質問ハ又スケレドモ、居ラレル時間ノ都合モアリマスノデ、私ガ一人長クヤッテモイカヌ、ト云ウテ相當時間ニ御辛抱ガ願ヘルナラ其積リ

○國務大臣(濱口雄幸君) 私ハ御承知ノ通デヤリタイ、詰リ此處ニ居ラレル時間ヲ大凡伺ヘバ人様ノ邪魔ニナラヌ程度デ申シタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 私ハ御承知ノ通リノ事情ニ依リマシテ、地租法案ノ委員會

此御調べガ私ハ能ク：此表ハ十八號ノ表デスガ、更ニ私ハ昨日一體、日本ノ農家ノ數方幾ラアルカト云フコトヲ此席デナリ、御質問スルト日本ノ農家ノ戸數ハ五百五十戸アッテ、其中、自作農方百七十四万戸、小作農方百四十八万、自作ト小作ヲ兼ネテ居ルモノガ二百三十餘万軒デ残ラズデ日本ノ農家ハ五百五十七万シカナインニ免稅ヲ受ケル……十八號ノ貨貸價格二百圓マデ免稅ヲ受ケル人數ガ五百九十七万八千人アルト云フノハ色ニ重複シ居る關係モアリマセウガ、餘リニ我ニ御交付ニナル此材料ガ事實ニ遠ザカタモノヲ御配付ニナッテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ感想ヲ致シマス、此事ヲチヨット承リタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 諸君ニ申上ゲシク……

○森田福市君 一時間ニナリマシタラ、其カラ、御質問ノ方ニ御許シ致シタイト思ヒマス、森田君

○森田福市君 ドウゾ四分ノ一グラキニ願ヒマス

○森田福市君 成ベク簡単ニ質問シマスカタイト思ヒマス、サウシサヘスレバ極ク短クテモ濟ムノデアリマス、答辯方要領ヲ得ヌト勢ヒ次ヘ次ヘ行カナケレバナラヌヤウニナリマスカラ、長クナリマス、第一ニ、總理大臣ニ御伺ヒシタ、病後ノコトデアラセラレルサウデアリマスカラ……ト思ヒマリマスノニハ、時間ヲ矢張リ見計ラッテヤッタラ宜イカト思フ、成ベク簡単ニハヤリマスノデ、私ガ一人長クヤッテモイカヌ、ト云

○大橋新太郎君 ソレナラバ私ノ質問ハ又スケレドモ、居ラレル時間ノ都合モアリマスノデ、私ガ一人長クヤッテモイカヌ、ト云ウテ相當時間ニ御辛抱ガ願ヘルナラ其積リ

○國務大臣(濱口雄幸君) 私ハ御承知ノ通デヤリタイ、詰リ此處ニ居ラレル時間ヲ大凡伺ヘバ人様ノ邪魔ニナラヌ程度デ申シタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 森田君ニ御答ヘ致シマス、前議會ノ時ニ於テ、倫敦條約ノ締結ニ依テ我ガ國防上缺陷ナシト申シマ

シタガ、不安ヲ感ズルコトナント申シマシタ、同様ナ意味デアリマシタガ、左様ニ御答ヲ致シマシタ、其趣意ハ此條約ノ明文ノリマス、ソレハ申ス迄モナク、大巡洋艦ニ於テ帝國ノ主張ハ多少通過イタシテ居リマセヌ點ガアリマス、而シテ潛水艦ニ於テモ亦大分頗數ニ於テ帝國當初ノ主張ト相違ガアルト云フコトハ、私モ能ク辨ヘテ居ッタノデアリマス、其辨ヘテ居ッタニ拘ラズ尙且ツ是ニ以テ國防上不安ナシト申シマシタノハ、他ニ軍事上ノ方法ニ依ラテ補充ノ途ガアルト云フコトヲ私ハ確信ラシテ居ッタ爲デアリマス、其補充ノ途ト云フノハ即チ本會今回出テ居リマス所ノ此補充計畫デアリマス、依ラテ重ネテ申シマスガ、國防上不安ナシト申シマスノハ、條約ノ明文ヲ其儘實行スルト云フコトノミデハナイ、他ニ軍事上ノ方法ト併用スルコトニ依ラテ不安ナカラシムルコトヲ得ルト云フ趣意デアッタ云フコトヲ重ネテ申上ゲテ置キマス

他ニ補充ノ方法ガアルトカ、或ハ直ニ此倫
敦條約ニ依ッテ以テ生ズル財源ハ國民ノ負
擔ヲ輕減スルガ、直ニ或程度ハ、金額ハ勿論
分ラヌト假定シテモ、或程度ハ第一補充計
畫ト云フモノガアル、或ハ其次ニ出テ來ル
所ノ第二補充計畫ト云フモノガアルトカ云
フヤウナコトハ承々テ居ラヌノデアリマス、
今日初メテ此席デ伺ッタノデアリマスルガ、
私ハ其點ハ總理大臣ノ仰ッシヤルコトガ、五
十八議會ニ於ケル答辯ト、此席ニ於ケル御
話トハ聊カ違ッテ來テ居ルト云フコトヲ申
上ゲテ置キタイノデアリマス、時間ガアル
ナラバ一層其點モ進ミタイト思ヒマスガ、
他ニ又此問題ニ付テハ詳シク御尋ニナル御
方ガアルダラウト思ヒマスルカラ、私ハ今ノ
御答デ満足イタシマセズ、尙ホ左様ナコト
ハ、來ル議會々々毎ニ說ガ、御説明ニナル
所信ガ變化シテ來ルト云フヤウナコトハ滿
足イタシマセヌ、尙ホ又其次ニ御尋シテ見
タイノハ、此減稅ニ最モ關係ガアル、總理大
臣ハ倫敦條約ニ依ッテ國民ノ負擔ヲ輕減シ
テヤルト云フコトヲ屢々聲明サレテ居ルノデ
アリマス、サウシテ今回茲ニ御提案ニナッテ
居ル所ノ減稅案ハ、私ハ此席ニ於テ先般來
茲ニ九日間デアルガ、モウ論議ヲ盡シテ居

所謂何故減稅デナイカ、即チ減稅ト政府ハ選舉其他ノ對策上宣傳シテ居ラレルケレドモ、減稅ニナルモノモアリマス、併シ增稅案ト云フベキモノデアラウト考ヘルノデアリマスガ、其結果ニ於テ見テモ、政府ガ世間ニ云フタ所ノ減稅ガ、果シテ今日增稅ヲ受ケタ所ノ國民ハ何ト考ヘルデアリマセウ、而モ都市ノ增稅ナドト云フモノハ、政府自ラガ御配リニナッタ物ヲ見テモ分ル通り、六大都市デ四百六十二万圓、其他ノ都市デ百三十九万圓、合セテ六百万圓餘リノ增稅ニナルノデアリマス、ソレカラ又郡部ノ方面ノ、多少增稅ニナル地主ガアッテモ、ソレハ僅カナ金額ニナッテ來ル、何故僅カナ金額ニナッテ來ルカト云フト、附加稅ト云フモノヲ大變御増シニナッタ、附加稅ヲ御増シニナッテ居ルカラ、結果ニ於テハ更ニ減稅ニナラナイ、何程カノ減稅ヲ受ケルノハ地租ニアラズシテ、營業收益稅ヲ一万圓納メテ居ルヤウナ人ガ僅ニ一圓十錢程度ノ減稅デアッテ、眞ニ國民ハ減稅ノ恩典ニ浴セヌノデアリマス、其減稅ニ政府ガ持テ行ク財源ニ付テ御尋シテ見タイ、是ハ總理大臣ノ五十八議會ノ施政方針ノ演說ノ中ニアッタと思

八議會デアッタカハキリ分リマセヌガ、其兩議會ノ中デアリマスルガ、獨逸ノ賠償金ノ六百三十万圓ヲ一般會計デナクシテ、特別會計ノ減債基金ニ繰入レル、而モソレヲ施政方針演説ニ於テナサフタノデアリマス、然ルニ今度ノ減稅スル上デ、實際財源ガナイ爲ニ、之ヲ一般會計ニ繰入レテオヤリニナル、即チ法律ヲ發布シテ一箇年間ダケ實行シテ、其一箇年間實行スル間ニ、大キナ此政府ノ方針ハ非募債主義デアル、公債ハ募集シナイト云フヤウナコトヲ仰シヤッテ、サウシテ此六百三十万圓ト云モノヲ減債基金ニ繰入レルト云フコトハ、施政方針演説ニモ言ハレタ、サウシテ僅カ一箇年間ヤタ後ニ、サウシテ直ニ今回ソレヲ一般會計ニ繰入レル、或ハ總理大臣ノ御考デハ選舉ノオ題目ニ使フノデアル、真ニ之ヲ減債基金ニ繰入レル御意思ハ無カッタモノデアラウト思フノデアリマス、唯選舉ノ時ニ非募債主義ヲ宣傳スル爲ニ、唯其手段ノ爲ニ、目的ノ爲ニ其手段トシテ非募債主義ヲ高調シ、サウシテ一方ノ方面ニ持テ行カテ六百三十万圓ノ獨逸ノ賠償金モ、之ヲ減債基金ニ入レルト云フヤウナ事ヲ仰シヤッテ、一度此減稅ヲスルト云フコトニナレ

バ、直ニ財源ニ苦シニテ之ヲ一般會計ニ繰入レル、或ハ政府ハ先般來ノ本員ノ質問ニ依五億八百万圓ノ金ヲ取フテアルトスウ仰シアル、取テアルト仰シヤンテモ現金ハ取テアルノデハナイ、是ハ總理大臣モ御承知ノ通り年々其當時、其計畫ヲ定メタ當時ノ收入ガアルモノトンシテ、是ダケノ財源ガ留保シテアッタノデアリマスガ、御承知ノ通り近來ノヤウニ歳入ガ激減シテ歲計ガ非常ニ減收ニナッテ來タ今日ハ、如何様ニ仰シヤンテモ其留保財源ハ無事デ置ク譯ニ行カナイ、ドウシテモ是デ其上ニ減税ヲ行ハウツレバ、一方ニ失業公債ヲ發行シテ見タリ、或ハ獨逸ノ賠償金ヲ一般會計ニ繰入レテ見タリト云フヤウナ事ヲスルノデアリマスガ、第一、此六百三十万圓ヲ一般會計ニ直ニ繰入レルト云フヤウナ事ヲスルコトガ、政治道德ノ上ニ於テ至當デアルト御考ニナルノデアリマスカ

○國務大臣(濱口雄幸君) 御質問ノ點ハ最後ノ一點デアラウト思ヒマスケレドモ、其初メニ於テ私ニ對シテ御質問ト思ハレタ點ガアリマスカラ、序ニ御答ヲ致シマス、此度ノ減税案ハ必シモ減税ニナッテ居ナイ、減税ノ分モアルガ増税ニナッテ居ル分モアル、

是ハヲカシイデヤナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノ御質問デアッタ存ジマス、私共ノ申シマスル減税ト申シマスルコトハ一般的ノ減税デアリマス、併シ其一般的ノ減税ト申シマス、或ハ地租、營業収益税、砂糖消費税、織物消費税、其四ツヲ全部混淆シタ一般的ト云フ意味デハアリマセヌ、地租ニ於テハ是ダケノ減税ニナリ、織物消費税ニ於テハ是ダケノ減税ニナリ、砂糖ニ於テモ亦然リ、營業収益税ニ於テモ亦然リ、斯ノ如クニ色ニ各種ノ稅目ニ於テ相當ノ減税ヲスルハ最初ノ言明ヲ決シテ裏切ルモノデハアリマセヌ、唯、今回ノ如ク世界的ノ大不景氣ニ際シマシテ、日本ノ歳入ガ思ハズ激減ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、只今森田君ノ御話ヲ承ッテ居リマスルト云フト、地租ニ於テ或部分ニ付テハ減税ニナルモノモアルケレドモ、例ヘバ六大都市ノ市街宅地ノ如キモノハ却テ増税ニナルト云フヤウナ御趣旨ノ御質問デアリマシタ、是ハ全體トシテハ地租ハ減税デアリマスガ、併シ個人個人ノ頭カラ申シマスレバ、或ハ增税ニナルモノガアルト思ヒマス、我ミノ申シマスル減税ト云フモノハ其意味デハアリマセヌ、

○森田福市君 總理大臣ハ減税ヲナサルト仰シヤルガ、減税ヲナサル時期ガ、必ズシリマスカラ、此點御誤解ナイヤウ豫メ申上ゲテ置キマス、次イデ御質問ノ要點タル獨逸賠償金ヲ國債償還ニ充テルト云フテ、僅カ一年ヤツテ直ニ之ヲ止メテ、一般會計ニ編入シタト云フコトハ、政治道德上如何デアルカト云フ御質問デアリマシタ、是ハ誠ニ我ニシテモ、モウ相當ニ話ヲ御聽キニナッテ居ラズニ増税ニナル人ノ方ガ人數ニシテモ多イト云フコトニナルトシタナラバ、ソレハ私ハ減税ニ非ズシテ増税デアル、政府ハ國民ノ負擔ヲ輕クシテヤルト、今モ總理大臣ノ話デハ、輕クシテヤルト云フコトモ一般的デアル、決シテ個々別々ノ話デハナイト仰シヤッタ、ソレハ或ハサウカモ知レヌ、勿論均衡ヲ保ツコトモ必要デアリマセウ、併シソレハ今日ガ其時期ダト總理大臣ハ仰セニナルノデアリマセウカ、國民ニハ負擔ヲ輕クシテヤルト宣傳シタモノガ、其大多數ノ國民ハ、本稅ト附加稅ノ一方ヲ見ルト殖エテ居ル……增税ニナッテ居ルト云フコトガアッタ場合ニハ、總理大臣ハソレデモ國民ノ負擔ヲ輕クシテヤルト言フテ置イテ、事實ハ增税シタコトヲ以テ見テ、果シテ今日此不景氣ノ際、商工業者ハ勿論增税ニナル、農民デモ然リデアリマス、或ハ農民ハ減税ニナルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、ソレ

ハ自作農ノ賃貸價格二百圓ニナツタ僅カノ差ノ人ミガ免稅ニナルダケデアッテ、大部分ノ地主ハ若シ之ニ依ッテ課稅サレルコトニナレバ、結果ニ於テ增稅ニナルノデアリマス、サウスルト減稅スルノニハ今ガ時期ガ宜シウゴザイマスガ、增稅スルコトハ今日ハ其時期デナイト云フヤウナ考ヲ我ミハ持テ居ル、又政治家トシテ減稅ヲシテヤルト仰シヤッタノガ、増稅ノ告知書ヲ貰テ満足スルモノデアルト御考ヘニナルノデアリマセウカ

○國務大臣(濱口雄幸君) 森田君モ御承知ノ通リ、日本ノ地租ノ制度ハ今迄頗ル亂雜ヲ極メテ居リマシタ、ソレハ明治ノ初年ニ於テ制定セラレタ所ノ地租法ノ結果ガ、今日迄繼續シテ居ッタガ爲デアリマス、其後一部部分ノ改革ハアリマシタケレドモ、尙ホ大體ニ於テ法定地價ニ依ッテ一定ノ率ヲ課シテ居ッタニ依ッテ、其土地ノ或ハ賣買價格、或ハ賃貸價格、或ハ其收益ニ對シマシテ酷ク權衡ヲ失シテ居ッタト考ヘマス、依テ何レノ時代ニ於テカ之ヲ整理センケレバナラヌ、公平ヲ保タシメナケレバナラヌト考ヘマシタノガ大正十五年、私共ガ大藏省ニ居タ時代デアリマス、偶々政治上ノ事情ノ爲ニ、其時ニ實行スルコトガ出來マセヌデ今

日迄遲レテ居リマシタガ、是ハ併ナガラ減稅デハアリマセヌ、ソレハ負擔ノ公平デアリマス、地租法ノ改正デアリマス、其地租法ノ改正、負擔ノ公平ヲヤッタノデアルガ、此度ハ更ニ一千八十万圓デアリマシタカノ減稅ヲ實行スルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ今日ガ果シテ減稅ノ適當ナル時期デアルカト……

○森田福市君 減稅ノデハアリマセヌ、増稅ノデス

○國務大臣(濱口雄幸君) 増稅ト申シマスノハ、個人々々ノ頭ニ付テノ增稅ト云フ御趣意デアリマセウ、私ノ申シマスノハ一般ニ付テノ減稅ヲ行フコトデアリマス、今日ノ如ク不況ノ時代ニ於テ一般的ニ減稅ヲヤルト云フコトハ甚ダ必要デアルト信ジテ居リマス

○森田福市君 減稅ハ一般的ニ必要デアルコトハモウ申ス迄モアリマセヌ、私ノ言ッテ居ルノハ、一部ノ國民ニハ減稅ニナルケレドモ大多數ノ國民ニハ減稅ニハナラヌ、増稅ニナルカラ今日ハ其時期デナイコトハナカニ、減稅ハ今日時期デアルケレドモ増稅イカ、減稅ハ今日時期デアルケレドモ増稅ハ其時期ニアラズト思フト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、時間ガ長クナリマスカラソレハモウソレ迄ニシテ置キマス、私

ハ一體、此重要法案ニ、總理大臣ガ僅カ一時間位出テ質疑應答ヲ重ネテ御茶ヲ濁サウリマス、總理大臣ト同様ノ意見デゴザイマシテ、今回御配付ニナリマシタ概計表ヲ完全ナルモノト考ヘルコトガ出来マセヌ、私ノ考ヘマスル不完全ナル理由ノ第一ハ、十年間ノ概計表ヲ見マスルト云フト、繼續費ヲ控除イタシタ臨時費ト云フ

モノガ、年々低下シテ參リマシテ、昭和六年度ニ一億二千二百万餘圓ノ臨時費ガアリマスルノガ、年々低下イタシマシテ、昭和十一年度ニ於テハ僅ニ五千餘万圓ニナッテ居リマス、是ハ申ス迄モナク繼續費以外ノ臨時費デゴザイマス、既ニ明年度ニ於テ、昭和六年度ニ於テ一億二千二百万圓ヲ計上シテ居ル時デサヘモ、極端ナル事業ノ中止繰延ベヲ行フテ辛ウジテ收支ガ合セテ居ルノデアリマスカラ、七年度以降ニ於テ斯ノ如ク臨時費ガ減リマスレバ、一般會計ニ於ケル經理ト云フモノハ、支ヘルコトガ出來ナイ状況ニナラウト思ヒマス、是ガ本員ノ概計表ノ不完全ナリト考ヘル理由ノ一ツデゴザイマス、第二ニ、今迄ノ概計表ニハ恩給其他ノ遞増費ト云フモノハ年々增加額ヲ見込ンデ居リマシタガ、今度ノ概計表ニハ遞增費ヲ省イテ居リマス、是モ概計表ノ不完全ナル一つ考ヘテ居リマス、第三ハ海軍ノ第二次補充計畫ノコトガ此中ニ入テ居ナイ點デアリマス、尙又今マデハ相當ノ剩餘金ト云フモノガ概計表ニ見エマスルケレドモ、此概計表ヲ見マスルト、最モ多キ昭和八年度ト雖モ、僅ニ剩餘金ト云フモノハ四百万圓ニ過ギナイ、昭和六年以降昭和十二年度マデハ、其他ノ各年度ハ百餘万圓ニ

過ギナイ、如何ニ此財源ノ不確實デアルカ
ト云フコトガ分ル、尙ホ第四ニ是ハ毎度問
題ニナリマシタ歳入ノ見積ガ非常ニ过大デ
アルト云フ點デアリマス、其外ゴザイマス
ルガ、私ハ此四ツノ理由カラシテ、概計表
ガ不完全ナリト考ヘテ居リマス、無論總理
大臣ハ私ノ申上ゲタ理由ヲ御認メニハナリ
マスマイ、私ノ申シタ四ツノ理由ニ依テ概

基トシテ減税案ヲ御提出ニナルベキモノデ
ハナカラウカ、即チ總理大臣自ラ完全ニ非
ズ、不完全ナリト御認メニナッタ所ノ概計表
ニ依フテ、今日冒險的ニ背水ノ陣ヲ布イテ恒
久的財源ヲ要スル減税案ヲ御提出ニナル時
機デナイ、斯ウ云フ私ハ結論ニ到達スルノ
デアリマス、是ハ私ハ先程質問ヲ致シマシ
タコトニ自ラ結論ヲ與ヘタニ過ギナイノデ
アリマスルガ、之ニ對シマシテハ御答辯ガ

説明ヲセラレテ居ルコトト私ハ確信ヲ致シマス、其大藏大臣ノ説明ヲ今日此所ニ於て確認ラスル者デアリマス、而シテ前日ノ衆議院ニ於テ此概計表ハ完全無缺ナルモノト考ヘ又ト申シマシタノハ、只今御擧ゲニナックタ如キソレ程亂雜至極ナモノデアルト云フコトヲ承認シタ意味デハ決シテアリマセヌ、是ハ固ヨリ概計表デアリマスルニ依テ、何レノ時ニ於キマシテモ、是ハ完全無

ナリマスマイケレドモ、併ナガラ概計表ガ完
全デナイ、即チ不完全デアルト云フコトヘ御
認メニナツテ居ル、曾テ濱口總理大臣ハ在野
ノ當時、概計表ヲ伴ハザル豫算ト云フモノ
ハ豫算ニシテ豫算ニ非ズト云フヤウナコト
ヲ御述べニナリマシタガ、此私ノ記憶ガ達ラ
テ居ルカドウカハ、是ハ別ト致シマシテ、
兎ニ角概計表ハ年々豫算ノ根幹トナリ、基
準トナルベキ大事ナモノデアリマスルガ、
此總理大臣ガ不完全ト御認メニナリマス概
計表ニ基キマシテ、恒久的財源ヲ要スル所
ノ減税案ヲ御提出ニナルト云フコトハ其時
機ヲ得ナイノデハナイカ、即チ總理大臣ノ
行政、稅制ノ根本的整理ヲシテ調査會ニ於
衆議院デ御答辯ニナリマスヤウニ、此財政
理ガ出來マシタ後ニ完全無缺ナル概計表ヲ

ゴザイマシテモ宜シウゴザイマス、御答辯ガナクテモ宜シウゴザイマス、尙ホ御答辯ガアリマシテモ、私ハ此上反覆質問ハ致シマセヌ、尙ホ他ノ大臣カラノ御答辯ハ他ノ機會ニ於テ伺ヒマスルカラ、本員ハ總理大臣ノ當席ニ御出デニナル御時間ヲ短カクスル意味ニ於テ、長カラザラシムル意味ニ於テ他ノ大臣、政府委員ノ御答辯ハ德義上御遠慮ヲ願^フテ置キマス

缺ヲ期スルコトハ困難デアリマス、如何ナル何ト言ヒマスカ、算盤ノ上手ナ人ガ出テ來マシテ、計算ヲ致シテ見マシテモ、今後八年ニ瓦ル所ノ其數字ヲ歲入歲出共ニ合セマシテ、均衡ヲ保ツト云フコトハ完全無缺ニ出来ルモノデハアリマセヌ、ソレヲ承認シタノデアリマス、只今御舉ゲニナリマシタ如キ理由ニ依テ如何ニモ杜撰孟浪ヲ極メタルモノデアッテ、其杜撰孟浪ヲ極メタル概計表ニ依テ背水ノ陣ヲ布イテ減稅ノ計畫ヲ立テタト云フ意味デハアリマセヌ、此コトハ此所デ明瞭ニ申シテ置カザルヲ得ナイノデアリマス

マス、其大藏大臣ノ説明ヲ今日此所ニ於テ
確認ラヌル者デアリマス、而シテ前日ノ衆
議院ニ於テ此概計表ハ完全無缺ナルモノト
考ヘヌト申シマシタノハ、只今御舉ゲニナツ
タ如キソレ程亂雜至極ナモノデアルト云フ
コトヲ承認シタ意味デハ決シテアリマセ
ヌ、是ハ固ヨリ概計表デアリマスルニ依
テ、何レノ時ニ於キマシテモ、是ハ完全無
缺ヲ期スルコトハ困難デアリマス、如何ナ
ル何ト言ヒマスカ、算盤ノ上手ナ人が出テ
來マシテ、計算ヲ致シテ見マシテモ、今後
八年ニ亘ル所ノ其數字ヲ歲入歲出共ニ合セ
マシテ、均衡ヲ保ツト云フコトハ完全無缺
ニ出來ルモノデハアリマセヌ、ソレヲ承認
シタノデアリマス、只今御舉ゲニナリマシ
タ如キ理由ニ依シテ如何ニモ杜撰孟浪ヲ極メ
タルモノデアッテ、其杜撰孟浪ヲ極タル
概計表ニ依シテ背水ノ陣ヲ布イテ減稅ノ計
畫ヲ立テタト云フ意味デハアリマセヌ、此
コトハ此所デ明瞭ニ申シテ置カザルヲ得ナ
イノデアリマス

大ノ御質疑ガアリマシタ爲ニ、自分ハ質疑
ヲ致シテ居リマセヌ、今日濱口首相ニ對シテ
委員ニ當リマシテ、茲ニ濱口首相ニ對シテ
私ガ昨年來考へテ居リマス點ヲ一二オ伺ヒ
スルコトヲ得ル機會ヲ得マシタコトハ甚ダ
光榮ニ存ズル次第デアリマス、只今森田君
及ビ長岡君カラ出マシタ問題ニ矢張リ關聯
シテ居リマスルガ、是ハ重ネテ私ヨリ總理
大臣ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス、所謂
海軍ノ保留財源五億八百万圓ナルモノハ今
日猶ホ確實ニ左様ナモノガアルト云フオ考
ヲ總理大臣ハオ有チニナッテ居ルノデアリ
マスカ否カ、先ヅ此點ヲオ伺ヒ致シマス

ト云フコトニ付テオ尋イタシマシタガ、左様ナ御答辯デアリマシタカラ、ソレ以上私ハ質疑ヲ致スコトハ止メマス、次ニ是ハ海軍大臣モ大藏大臣モ屢々本會議其他ノ席ニ於テ御言明ニナッテ居ルノデアリマスガ、此海軍ノ補充計畫ノ所謂第二次ニ屬スルモノデアリマスガ、或ハ政府ハ第二次補充計畫ト云フヤウナモノハ認メテ居ラヌト仰セラレバソレマデアリマスガ、今マデ私ガ同ツテ居ル所ニ依リマスト、今回ノ三億七千四百万圓ト云フモノハ先ヅ其根幹ヲ形ヅクルモノデアル、斯ウ云フコトヲ外務大臣ナドハ繰返シ卷返シ御話シナサルコトヲ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、併ナガラ三億七千四百万圓デハ昭和十一年ニ終ルノデアリマス、倫敦會議ノ結末マデニ完全ニ日本ガ有シテ居ル所ノ権利ヲ行使シテ居ル譯デハアリマセヌ、然ラバ何年度カラカハ存ジマセヌ、又ドウ云フ計畫ノ内容ガアルカハ存ジマセヌガ、少クモ私共ノ測量ニ依リマスト云フト、遲クモ昭和十年ニハ此殘餘ノ權利ノ行使ヲ必要トスル、斯ウ云フ風ニ私ハ存ズルノデアリマスガ、ソレニ付テノ財源トデアラウトモ、財源ハ當然御用意爲サラナ

ケレバナラヌ、只今長岡君カラ御話ニナリ
マシタ所ノ此十年ニ亘ル所ノ概計表ニモ、
當然私ハ掲ゲラレナケレバナラヌモノト思
フノデアリマスガ、何故ニサウ云フヤウナ
モノヲ特ニ御出シニナラナイノデアリマス
カ、或ハ第二次計畫ト云フモノハ首相ハ御
認メニナリマセヌノデアリマスカ、此二點
ニ付テ御伺ヒシマス

○公爵一條實孝君 總理大臣トシテハ決メ
テ居ラヌカラ、決メラレヌカラ財源ヲ用意
シテ居ラヌ、從フテ概計表ニハ書イテナイ、
斯様ニアマサリ仰シヤイマスガ、元來此第一
期補充計畫トカ第二期補充計畫トカ云々テ
分ケルベキモノデナイト私ハ思ヒマス、成
程本年限リノ海軍豫算ニ於テハ、幾ラノ
ト云フコトハソレハ決テ居リマセウ、一方
ニ三億七千四百万圓ト云フ繼續費ヲ御出シ
ニナシテ居ル、ソレデハソレダケデ以テ海軍
大臣ガ國防ノ責任ヲ完ウシ得ルカト云フ
ト、ソレハ海軍大臣ヘ完シ得ナイト云フコ
トヲ總理大臣ハ御不在中デアリマスガ仰シ
ヤラレテ居ルノデアリマス、又其内容等ニ
付テモ可ナリ私ハ突込ンダ所マデ、實ハ亞
米利加邊リノ新聞記者ニ聞エテハ面白クナ
イト思フヤウナ事マデ、本會議ニ於テモ豫
算委員會等ニ於テモ伺ツテ居ルノデアリマ
ス、私共ノ愚鈍ナ頭デモ三遍五遍十遍ト繰
返サレル事柄ハ、サウ聽キ違ヒ、判断違ハ
致シテ居リマセヌ積リデアリマス、左様ニ
私ガ信ジテ居ル事柄ニ對シテ、總理大臣ハ
第二期計畫ト云フモノヲ、恰モ無イガ如クナ
有ルガ如ク仰シヤラレルト云フコトハ、私ハ
甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、有ルナラ有ル、ニ

概計表ニ掲ゲルト云フト、結局減税ト云フモ
ノ財源ガ表向キニ出テ來ナイ、恐ラク私ハ、
具體的ニ申シマスレバ一億五千万圓程度ト
云フモノハ第二期計畫ニ當然要ルト思フノ
デアリマス、然ルニ五億八百万圓、「マイナ
ス」三億七千四百万圓、ソコニ一億三千四百
万圓ト云フモノガアル、之ヲ減税ニ充テル、
斯様ニ世間ニ向テ仰セラレル其眞意ヲ甚
ダ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、マア其問
題ハ其程度ニ止メマシテ更ニ今日先程カラ
同僚ノ方ガ御尋ネニナツテ居リマスル所謂
減税トスウ言ツテ非常ニ宣傳ヲ爲サツテ居ル、
モウ津浦ニ到ルマデ海軍ノ方ハ兎モ角
モ三億七千四百万圓ト云フモノヲ使タシ
使フノダ、サウスルト五億八百万圓ノ保留
財源ノ中カラ一億三千四百万圓ト云フ負擔
ガ減ルノデアルカラ、ソレハ假令飛行機カラ
ラ鹽ヲ振撒イタヤウナコトニナルカモ知レナ
イケレドモ、兎ニ角我ニ鹽ガ撒カレルノ
ダ、斯ウ云ツテ期待シテ居ルト私ハ考ヘマ
ス、其證據ニハ、新聞デモ所謂……先程總
理大臣ガ仰シヤッタヤウナ所謂負擔ノ公正
ヲ圖ル爲ニ地租法ノ改正ヲヤルト云フヤウ
ナ聲ハ餘り出テ居リマセヌ、所謂世間並ミ

○國務大臣(濱口雄幸君) 減稅案ノコトデ
アリマスルガ、是ハ、モノヲ區別ヲシテ御
考察ヲ願ヒ度イト存ジマス、即チ新地租法
ノ制定、ソレカラ減稅ノ諸案、此ニツニ區
別ヲスペキモノデアラウト存ジマス、新地
租法ト云フモノハ全體ニ瓦ツテ總ユル人ニ
ノ頭ヲ輕減スルト云フ目的デ出來テ居ルモ
ノデアリマセヌ、其目的デ出來テ居ルモ
ノハ即チ減稅諸案デアリマス、此點ハ能ク
一ツ區別ヲシテ御考ヲ願ヒタイト存ジマ
ス、而シテ初年度ニ於テ九百万圓、二年度
以降ニ於テ二千五百六十萬圓以上ノ減稅ガ
出來マスト云フコトデアレバ、先ヅ私モ十
分トハ無論考ヘマセヌケレドモ、今日ノ我
財政ノ狀態ニ於テハ、是ダケデ以テ此際辛
抱スル外ハアルマイト考ヘテ居リマス、國
民ニ於テモ願クバ其積リデ一ツ辛抱ヲ願ヒ
タイト存ジテ居リマス、若シ此場合ニ於
テ、何等倫敦條約ガ出來タニ拘ラズ負擔ノ
輕減ガ出來ナイト云フコトデアッタナラバ、
其失望ハ蓋シ測リ知ルベカラザルモノガア
ルデアラウト私ハ存シマス、先ヅ先キハ先
デアリマスケレドモ、今日ノ場合ハ二千五

百數十万圓ノ減稅デ得心シテ貰フ外ハナイ
ト私ハ考ヘテ居リマス
○公爵一候實孝君 モウ一點伺ヒマシテ私
ハ質問ヲ止メマス、只今總理大臣カラ頻り
ト減稅ト云フコトバカリヲ仰シヤリマシタ
ノデスガ、私ハドウシテモ此增稅ノ方モ併
セテ、私ノ方カラ申シマスト御考ニナラナ
ケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、私ハ
能ク區別ヲ附ケテ居ル積リデアリマス、成
程先程ノ差引ヲ致シマスレバ、成ル程減
稅ニナル、斯ウ云フコトニナリマスルケレ
ドモ、減稅ヲ受ケマシタモノハ假令僅カナ
リトモ今日ノ場合ニ於テ非常ニ有難味ヲ感
ズル、所謂倫敦條約ノ成立シタ爲ニ是ダケ
ノ恩惠ヲ受ケル、併シ直グ其反對ニハ大變
ニ増稅ニナル、ソレモ尠ナカラヌ增稅ニナ
ル、斯ウ云フノガアルノデアリマスカラ、
是コソ私ハ濱口首相ハ同時ニ御考ヘ願ハナ
ル、ケレバナラヌト思フ、將來ノ問題ヲ一ツ伺
ヒマスガ、斯様ナ事實デアリマスシ、又來
年度ノ歲入邊リノ御見積リニシテモ大體政
府ノ此概計表ヲ拜見イタシマシテモ、今日
ヨリ尙ホ減ルヤウナ御計算ニナッテ居リマ
ス、是ハ私ハ財界ノコト等ハ存ジマセヌ
ガ、恐ラク今日ヨリ更ニ又歲入等ガ減ルノ
デアラウト思フノデアリマス、其時ニナッテ

徹底的ニ所謂行政整理ト云フモノヲ爲サル
御意思ガアリヤ否ヤ私ハ モット具體的ニ申
シマス、先程地租法案等ニ付テ負擔ノ公正
正合理化ナント云フ言葉ハ何モ今日ニ始
マッタコトヲ頻リト仰セラレマス、私ハ公
云フコトハ申シテ居ル、然ルニ私ハ先達テ
豫算分科ニ於テ海軍大臣陸軍大臣ニ交、御
尋ヲシタノデアリマスガ、一體役人ノ賞與
ト云フモノハ如何ニ豫算案ヲ繰返シテ見テ
モドコニモアリハセヌガ、何所カラ出ル、
ソレガ六千何百……少ナカラヌ金デアリマス、
茲ニ此地租法案ノ委員會ニ配ラレタ數字ヲ
見マシテモ昭和三年度ニ於キマシテハ六千
四百四十二万五千圓ト云フ賞與ヲ出シテ御
出デニナリマス、又昭和四年度ニ於キマシ
テ六万五千八百、……間違ヒマシタ昭和三
年度ニ於テ六千五百八十二万三千圓、昭和
四年度ニ於テ六千五百八十二万三千圓、斯
様ナル多額ノ費用ヲ豫算面ニナイモノヲ御
使ヒニナッタ、サウシテ曰ク俸給残ナリ、雜給
雜費ノ殘ナリト云フコトヲ、假令多年ノ習
慣ナリト雖モ踏襲シテ居ラレル、私ハ斯様
仰セラレル 濱口總理ノ御決心ニ依テ斷行
ナルコトヨリ眞ニ先ニ合理化トカ公正トカ
爲サラナケレバナラヌトコト思フノデア

リマス、所謂行政整理ト申シマス中ニ於テ
斯様ナルコトヲ來年度ニ於テ御断行ニナリ
マス御決心ガアリマスカ否ガト云フコトヲ
伺ヒマシテ私ノ質問ヲ止メマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 只今ノ賞與ノ問題コソ、是コソ實ニ多年ノ慣例デアリマス
我ミモ年々之ヲ問題ニ供スル位デアリマス
ガ、只今ノ御意見ハ此席ニ於テ十分ニ承^フテ
置キマス

○男爵井上清純君 私ハ一條公爵ノ御質疑ニ依リマシテ大分自分ノ質問ハ廢シマセウ
ト考ヘテ居タノデアリマス、併ナガラ只今
承ルト總理大臣ノ御答辯甚ダ要領ヲ得ナイ
モノガゴザイマスカラ、已ムヲ得ズ私ハ之
ニ一二言ノ言葉ヲ添ヘナケレバナラヌ次第
ニナツタノデアリマス、只今ノ御言葉ニ依リ
マスト、此倫敦條約ニ依^フテ國民ガ減稅ヲ
得ナカツタナラバ多大ナル失望ヲスルデア
ラウト云フ 御言葉ガアツタノデアリマス、
如何ニモ其通リデアラウト思ヒマスルガ、
私ハ總理大臣ガ御記憶ニナリマスガ如ク
ニ、ナリマスグラウト思ヒマスガ、昨年一
月二十日ト記憶イタシマスガ、斯クノ如キ
モノヲ盲斷セラレタナラバ、ソコニ經濟的
ノ國防ガ成リ立タヌヤウニナツテ、却^ツテ多

ニ認メテ差シ上ゲマシタ、總理大臣ハ委細者慮スルト云フ、御返答デアッタノデアリマス、爾來回訓案トナリ、批准トナリ、其間ニ軍令部長ノ交代トナリ、大臣ノ交代トナリ、軍事參議會ノ會議トナリマシテ、奉答文トナフテ現ハレテ敷奏文トシテ現ハレタ事情ハ、能ク御存知ナサレルモノダト考ヘマスガ、斯クノ如クシテ肉ヲ削リ、血ヲ流逝テ得タ所ノ減稅案ノ財源、其コトニ付キマシテ今日問題トナッタノデアリマス、ソモヽ只今此財源ニ付キマシテ四億八百万圓ト云フモノハ、何ウ云フモノデアルカト云フ御質問ガアリマシタガ、此四億八百万圓ト云フモノダケデハ足リナイデ、ソレニ五千万圓ト云フ足ガ出テ居リマス、即チ第一補充計畫ハ一億七千四百万圓ノ外ニ五千万圓ト云フ足ガ出テ居ルノデアリマス、尙ホ又其爲ニ職工ノ手當ノ爲メニ六百万圓カラノ公債モ發行シナケレバナラヌト云フコトデアリマスルカラ、是又此倫敦條約カラ出タ所ノ缺クベカラザルモノデアリマシテ、バナラヌモノデアラウト思フノデアリマス、ソコデ承ハリタイノデアリマスルガ、第一次補充計畫ダケデ以テ此倫敦條約カラ

得タ所ノ兵力ノ缺陷ヲ補ウコトガ出來ルト
云フヤウナオ答ヘデアリマシタガ、ソレハ
海軍大臣ハ否認セラレテ居ルノデアリマシ
テ、總理大臣代理デアル所ノ幣原首相代理
モ亦是ヲ裏書キセラレテ居ル所デアリマシ
テ、今日迄ノ御答辯ニ依リマスト、是ヲ要
約シテ言ノタナラバ、政府ハ第二次補充計畫
ノ必要ト希望ト持テ居ル、併乍ラ其著手
ノ時期ト内容トガ不確實デアルカラ、今ハ
財源ヲ持テ居ラヌト云フオ答ヘデアリタ
ノデアリマス、所ガ其時期ハ唯今一條公爵
ガ言ハレル如ク、遲クモ十年ニアルノデア
リマシテ、或ハ九年ト云フコトニナッテ居
ルノデアリマス、サウシテ内容モ具體的ニ
舉^ハテ居ルノデアリマス、其コトハ先日花井
博士ガ豫算委員會ノ席上デ以テ、加藤軍事
參議官ノ聲明ヲ讀ミ上ゲラレタノデアリマ
ス、其聲明ガ如何ニモ誠シヤカナモノデア
リマシタカラ、私ハコヽニ疑問ヲ存シマシ
テ、直チニ軍事參議官ニ聞イタノデアリマ
ス、所ガ其加藤軍事參議官カラ其通リデア
ルト云フ御返答ガアリマシタカラ、私ハ是
ヲ以テ正シイモノト考ヘナイ譯ニハ參ラヌ
ノデアリマス、其内容ト云フモノハ速記録
ノ第九號ノ三十三頁ニアリマスカラ、就テ

ノ費用ト云フモノハ、約一億四千万圓内外デアリマス、サウシテ著手スル時期ハ昭和九年デアルト云フコトガ書イテアル、尙ホ第一次、第二次計畫ト云フモノガアル譯デナイノデアル、補充計畫ハ一聯シタモノデアッテ、政府ノ都合上第一次第二次補充計畫トスウナッテ居ルノデスカラ、第二次補充計畫ヲ出スト減税ノ財源ガナクナルカラ、ソレハ隠シテ居ルノデアルト云フヤウナ意味合ガ籠テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトガ現ハレテ分カッテ居リマシテ、而カモ其當時濱口總理大臣ハ一札ヲ海軍ニ入レテ居ラレルコトマデモ書イテアルノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、我ミハ斯ノ如キモノガ必要デナケレバ是ヨリ幸ヒナコトハナノデアリマスガ、必要デアルト云

○國務大臣(濱口雄幸君) チョット失禮デゴザイマスケレドモ、井上男爵ノ初メノ御言葉ニ對シテ、私誤解ガアルカモ知レマセヌカラ御伺ヒ致シマスガ、海軍ノ第一期補充計畫ハ三億七千四百万圓デアルト、而モソレガ尙ホ足リズシテ、昭和十三年度以後ニ五千万圓足ヲ出シテ居ル、斯ウ云フコトガアリマシタガ、其通りデアリマスカ、若シ間違ヒマシタラ御訂正ヲ願ヒタイ

○男爵井上清純君 其通り
フコトデアルナラバ、其時ニハドウスルノカト云フコトハ大藏大臣ニ承リマシタ時ニ、大藏大臣ハ阪本男爵ノ御質問ニ對シマシテ、ドウシテモ國防上必要已ムヲ得ザルモノガアッタ時ハ、増税ニ依ルカ、公債ヲ發行スルカト云フ御返答デアリマシタ、私ハ茲ニ於テ改メテ總理大臣ニ御問ヒヲ致シマスルガ、第二次補充計畫ガ實現スル希望ト必要ヲ認メテ居ラレルノデアリマスシテ總理大臣代理ガ云ハレタノデアリマス

カラ、濱口總理大臣ハ之ヲ肯定サレナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ラバ其財源ガナノデアリマスルカラ、若シモ自然ナリオヤリニナルカト云フコトヲ一點伺ヒタイノデアリマス
増收ガ現ハレヌ場合ニ於テハ公債ナリ增税ナリオヤリニナルカト云フコトヲ一點伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) チョット失禮デゴザイマスケレドモ、井上男爵ノ初メノ御言葉ニ對シテ、私誤解ガアルカモ知レマセヌカラ御伺ヒ致シマスガ、海軍ノ第一期補充計畫ハ三億七千四百万圓デアルト、而モソレガ尙ホ足リズシテ、昭和十三年度以後ニ五千万圓足ヲ出シテ居ル、斯ウ云フコトガアリマシタガ、其通りデアリマスカ、若シ間違ヒマシタラ御訂正ヲ願ヒタイ

○男爵井上清純君 其通り
内閣トシテハサウ云フコトハ斷ジテ持テ居リマセヌト云フコトヲ強ク言明イタシテ置キマス

○男爵井上清純君 然ラバ、諄イコトデアリマスルガ、豫算委員會ノ速記録、第十四回十一頁ニアルノデアリマス、衆議院ノ豫算委員會デアリマス、海軍大臣ノ言葉トシマシテ、昭和十一年十二月三十一日マデニ

レドモ、私ハ斷ジテ申シマス、政府ニ於テ残餘條約上ノ造船權利ヲ行使スル希望ト必要トヲ認メル、殘餘ノ條約上ノ造船權利ト

云フモノハ、第一次補充計畫ノ以外ノ條約

上ノ增艦權利ヲ指サレタモノデアリマス、

カラ言明セラレテ居ルノデアリマシテ、其

言明ハ即チ濱口總理大臣ノ言明ト我ニハ今迄思テ居タノデアリマス、而モ海軍大臣竝ニ首相代理ハ今迄モ第二次補充計畫ト云フ言葉ハ屢々遣ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ是等ノ事實、是等ノ名稱ヲ濱口總理大臣ガ此席ニ御出デニナッテ悉ク否認サレルト云フコトデアルナラバ、今迄ノ内閣ノ我ニガ承タ所ノ説明、御答辯ト云フモノヲ全然否認シナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ、此點ニ付テハッキリ御答辯ヲ願ヒタインデアリマズ

○國務大臣(濱口雄幸君) ソレハ失禮ナガラ男爵ノ御誤解デアリマス、其點ニ付テハ私ガ最初カラ申シテ居リマス、誰方ノ御質問デアリマシタカ、之ニ對シテ例ヘバ、今回要求イタシマシタ補充計畫ガ第一期ト申スナラバ、其次ニ尙ホ十二年度ノ終る前ニ於テ若干ノ金ガ必要デアル、又希望スルト云フコトヲ海軍大臣ガ申シテ居ル、其海軍大臣ノ希望ト必要トニ對シテハ、私ハ之ヲ承認イタシマスト云フコトヲ先刻カラ明瞭ニ申シテ居リマス、是ハ速記録ニ依テ御覽下サレバ能ク御分リニナルト思ヒマス、其點ニ付テ或ハ海軍大臣ノ今日迄ノ言明、或ハ幣原臨時代理ノ言明ト云フモノヲ、毛頭翻ス意思ハアリマセヌ、全然是ハ承認致

シマス、唯苟モ政府ガ此處へ出テ來マシテ、第二期計畫ト云ヒ或ハ第三期計畫ト云フ以上ハ、既ニ計畫ト云フ以上ハ著手ノ時期、其金額、其年度割ノ略、決タモノヲ持テ居リマセヌ、ソレカラ其内容モ決ツテ居リマセヌ、金額モ何等決タモノモアリマセヌ、是ハ其當時ノ列國ノ形勢ニ依テ自カラ考フベキ問題デアリマス、仍テ計畫ハ持テ居ラヌト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、是等ハ能ク御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ最初ノ御質問ニ對シテチヨット私御答ヲ洩シタ點ガアルカト存ジマスガ、愈々、マア假ニ第一期ト申シマセウ、第二期ノ計畫ガ其場合ニ於テ必要ニナッタ時ニ於テ、概御答ヲ洩シタ點ガアルカト存ジマスガ、愈々、マシテ、海軍大臣ハソレハ不穩當ノコトト考ヘルト云フ御答デアッタヤウデアリマス、然ラバ海軍大臣ニ於テ、斯カル不穩當ノ言辭ヲ弄スル人ガアッタナラバ取締ツテハ如何カト云フ質問ガアッタノデアリマス、海軍大臣ハ之ニ答ヘテ言ハレルノニ取締ルコトモ出来兼ネルト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアッタノデアリマス、即チ是ハ事實デアルカラ、取締ルコトハ出來ナイノデアリマス、幾ラスルト云フコトヲ、此席デ申上ゲルコトヲモ、私ハ増稅ヲスルカ或ハ募債ヲスルカ、

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 總理大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ
○森田福市君 幾ラデモアルノデス、幾ラデモアルノデスガ、時間モ一時間ト仰シャッタカラサウシタンデスガ、差支ガナイノナラバ伺ヒタイ、私等ハ一ツモ要領ヲ得テ居リマセヌ、全く不得要領デアリマス、議員ト都合ダト思フコトハ、公々然トシテ言ハレテモ少シモ差支ナイノデアリマス、其軍事事務官タル者ノ言ハレタ言葉ヲ否定サレル

ナケレバナラヌ義務ガアリマス、其時ニハソレ相當ノ又工夫ヲ致シマセウ、唯、今日カラ公債ヲ募集スルトカ、或ハ増稅ヲスルトカ云フコトヲ、私ハ申上ゲタクナイノデアリマス、申上ゲナイノデアリマス、問ヲ打切りタイト思フノデアリマスガ、加藤軍事參議官ハ帷幄機關ノ一人デアリマシテ、其人ガ聲明サレタ言葉ヲ全然頭カラ否認サレルノデアリマス、先達テ斯ノ如キコトガ若モアッタ場合ニハ、海軍大臣ハ之ヲ穩當ノコトダト考ヘルカト云フ御質問ニ對シト考ヘルト云フ御答デアッタヤウデアリマス、斯ノ如キモノデアッタナラバ、再ビ是ハ海軍大臣ノ問題ニ移ルノデアリマシテ、總理大臣断定シナイ譯ニハ參ラヌノデアリマス、斯ノ如キモノデアッタナラバ、再ビ是ハ海軍大臣ノ問題ニ移ルノデアリマシテ、總理大臣カラ此以上私ハ何等ノ御答ヲ得ル必要ハナキモノト考ヘマシテ、質問ハ是デ打切りタイト考ヘマス

度ニ止メタノデアリマス、マダ御差支ナインラバ質問イタシマスガ、モウ失敬サレタ

イト云フノナラバ私モ御免ヲ蒙リタイト思ヒマス

○水野鍊太郎君 總理大臣ニ對シテ御伺ヒ

シタイコトハ私モアリマスシ、又他ノ人モ質問答モ多々アルト思フノデスガ、併シ

總理大臣ノ御病氣ノ御状態ヲ見マシテハ、私ハ總理大臣ニ、此上御迷惑ヲ掛ケルコト

ハ忍ビナインデアリマス、ソレ故ニ總理大臣ニ對シマシテ、私ハ是非御伺ヒシタイト

思ヒマスコトガアリマスルケレドモ、ソレハ止メテ置キマシテ、此程度デ私ハ總理大

臣ノ御退席ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(濱口雄幸君) ソレデハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、是ヨリ退席スルニ

當リマシテ、一言申上ベテ置キタイト思ヒマス、先刻來御質問ノアリマス方ハ、能ク

海軍ノ第二期補充計畫ト云フコトヲ繰返シテ御質問ニモナリマスシ、如何ニモ御尤ノ

點モアリマス、併シ是ハ又繰返シテ居リマス、併シハ事實デアリマス、海軍ノ第二

期補充計畫ハ持テ居リマセヌガ、減稅計畫

ト云フ明確ナル計畫ヲ明カニ持テ居リマ

ス、是ハ立派ナ計畫デアリマス、希クハ此財界ノ不況ナル場合ニ於テ、國民ノ齊シク希望シテ居ル場合ニ於テ、政府ニ於テ決マッ

テ居ル計畫デアリマス所ノ減稅計畫ハ、ドウカ慎重御審議ノ上、偏ヘニ御協賛アラムコトヲ私ハ切ニ希望イタシマス、ノミナラズ倫敦條約ノ目的ハ今更譯ク申上ゲル必要

ハアリマセヌ、唯、倫敦條約ノ目的トスル所ハ、條約ヲ御一讀ニナレバ直ニ御了解ニナルコトト存ジマスガ、第一ニ造船競争ニ依ル所ノ危險、第二ニ各國民ノ負擔ノ輕減

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

於テ問題ニナッテ居リマス、此ニツノモノガ

デアリマス、第二ノ負擔輕減ガ、今當院ニ

第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

ニ調印ヲ致シ、サウシテ之ヲ成立シマシタ

其目的ヲ達スルニ於テ、甚ダ遺憾ガアルト

云フコトヲ深ク感ズル者デアリマス、ドウカ條約ノ目的ニ照シ又一面ニ於テ日本ノ

財界ノ現狀ニ照シマシテ、此政府ノ重要政策ト申シマスルヨリモ、國家ノ重要政策タ

ラムコトヲ切ニ希望イタシマシテ、茲ニ御

別レ致シマス

申上ゲテ置キタイト思ヒマス、減稅ニ反對的ノ質問ハ一ツモ出テ居リマセヌ、唯ダ増税ニ對シテノミ反對的ノ質問ヲ我ミハヤ

希居ル計畫デアリマス所ノ減稅計畫ハ、ドウカ慎重御審議ノ上、偏ヘニ御協賛アラムコトヲ私ハ切ニ希望イタシマス、ノミナラズ倫敦條約ノ目的ハ今更譯ク申上ゲル必要

ハアリマセヌ、唯、倫敦條約ノ目的トスル所ハ、條約ヲ御一讀ニナレバ直ニ御了解ニナルコトト存ジマスガ、第一ニ造船競争ニ依ル所ノ危險、第二ニ各國民ノ負擔ノ輕減

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

於テ問題ニナッテ居リマス、此ニツノモノガ

デアリマス、第二ノ負擔輕減ガ、今當院ニ

第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

ニ調印ヲ致シ、サウシテ之ヲ成立シマシタ

其目的ヲ達スルニ於テ、甚ダ遺憾ガアルト

云フコトヲ深ク感ズル者デアリマス、ドウカ條約ノ目的ニ照シ又一面ニ於テ日本ノ

財界ノ現狀ニ照シマシテ、此政府ノ重要政策ト申シマスルヨリモ、國家ノ重要政策タ

ラムコトヲ切ニ希望イタシマシテ、茲ニ御

別レ致シマス

副委員長 男爵阪谷 芳郎君
公爵一條 實孝君
侯爵細川 護立君
子爵梅小路定行君
子爵大久保 立君
子爵大河内輝耕君
子爵裏松 友光君
水野鍊太郎君
伊澤多喜男君
男爵小畠大太郎君
男爵井上 清純君
片岡 直溫君
藤田 四郎君
馬場 錠一君
長岡隆一郎君
後藤 文夫君
木村清四郎君
大橋新太郎君
森 平兵衛君
濱口儀兵衛君
田中 一馬君
小林 暢君
森田 福市君

問デヤアリマセヌ、減稅ニ付テ總理大臣ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、減稅ニ反對的ノ質問ハ一ツモ出テ居リマセヌ、唯ダ増税ニ對シテノミ反對的ノ質問ヲ我ミハヤ

希居ル計畫デアリマス所ノ減稅計畫ハ、ドウカ慎重御審議ノ上、偏ヘニ御協賛アラムコトヲ私ハ切ニ希望イタシマス、ノミナラズ倫敦條約ノ目的ハ今更譯ク申上ゲル必要

ハアリマセヌ、唯、倫敦條約ノ目的トスル所ハ、條約ヲ御一讀ニナレバ直ニ御了解ニナルコトト存ジマスガ、第一ニ造船競争ニ依ル所ノ危險、第二ニ各國民ノ負擔ノ輕減

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

於テ問題ニナッテ居リマス、此ニツノモノガ

デアリマス、第二ノ負擔輕減ガ、今當院ニ

第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

デアリマス、幸ニシテ條約ノ成立ニ依テ、第一ノ危險タル所ノ造船競争ハ除カレタ譯

ニ調印ヲ致シ、サウシテ之ヲ成立シマシタ

其目的ヲ達スルニ於テ、甚ダ遺憾ガアルト

云フコトヲ深ク感ズル者デアリマス、ドウカ條約ノ目的ニ照シ又一面ニ於テ日本ノ

財界ノ現狀ニ照シマシテ、此政府ノ重要政策ト申シマスルヨリモ、國家ノ重要政策タ

ラムコトヲ切ニ希望イタシマシテ、茲ニ御

別レ致シマス

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君

國務大臣

內閣總理大臣 濱口 雄幸君

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

大藏大臣 井上準之助君

政府委員

法制局長官 川崎 卓吉君

內務省地方局長 次田大三郎君

內務書記官 岡田 周造君

鈴木 敬一君

大藏政務次官 小川鄉太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 野津高次郎君